

| 現金補償 (個人拂) | | 移設費 補償 | |
|---------------|----------|-----------|----------|
| 市負擔 | 國負擔 | 市負擔 | 國負擔 |
| 一〇五 | 四 | 一〇五 | 四 |
| 三、四二・〇三 | 二〇三・六 | 三、四二・〇三 | 二〇三・六 |
| 九四三 | 九三 | 九四三 | 九三 |
| 五、〇七・四 | 五、一六〇・四 | 五、〇七・四 | 五、一六〇・四 |
| 一八九 | 一九 | 一八九 | 一九 |
| 二、〇三・四二 | 二、三三・三六 | 二、〇三・四二 | 二、三三・三六 |
| 三 | 三 | 三 | 三 |
| 二六・八八 | 一〇六 | 二六・八八 | 一〇六 |
| 八、四一・五三 | 九、一七〇・三三 | 八、四一・五三 | 九、一七〇・三三 |
| 二〇三・六 | 二〇三・六 | 二〇三・六 | 二〇三・六 |
| 三、四六八・九一 | 三、四六八・九一 | 三、四六八・九一 | 三、四六八・九一 |

| 合 | | 計 | |
|----------|----------|----------|----------|
| 市負擔 | 國負擔 | 市負擔 | 國負擔 |
| 二、〇六四 | 二 | 二、〇六四 | 二 |
| 三、三六八・四 | 六五〇・六 | 三、三六八・四 | 六五〇・六 |
| 一〇七 | 一〇六 | 一〇七 | 一〇六 |
| 一 | 七八・六 | 一 | 七八・六 |
| 一 | 五 | 一 | 五 |
| 一 | 一、四〇・三 | 一 | 一、四〇・三 |
| 三 | 三 | 三 | 三 |
| 二六・八八 | 一八五 | 二六・八八 | 一八五 |
| 三、六八八・三三 | 二、九〇九・五〇 | 三、六八八・三三 | 二、九〇九・五〇 |
| 三、四二五・四八 | 三、四二五・四八 | 三、四二五・四八 | 三、四二五・四八 |

備考 合計件數欄中には再設費補償件數を含まず。

第四章 道路占用

本地區に於ける占用事務は大正十五年十二月十日之を開始し昭和三年二月二十八日閉止の豫定なりしが、建物移轉並道路工事の關係により翌四年十二月二十五日之を閉止せり、而して同五年三月三十一日迄に臺帳の作成を了し市土木局に引繼を爲せり。

本地區に於ては昭和二年二月十五日市水道局並東京電燈株式會社に對し一括許可又は承認を爲したるを最初とし、それより逐次各事業者に許可又は承認を爲したり、而して右に對する分割許可又は承認は昭和二年四月十日市水道局に承認せるを最初とし、それより逐次各事業者に許可又は承認を爲し、同四年十二月二十二日市水道局に承認せるを最終とし要求工事千四十六件、非要求工事二千百五十三件の許可又は承認を爲したり、其の狀況を示せば左の如し。

第四十七地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

| 事業業者 | 一括占用許可 | | 分割許可 | | 可承認 | |
|----------|---------|----------|----------|------|-------|----|
| | 承認年月日 | 最初年月日 | 最終年月日 | 要求工事 | 非要求工事 | 計 |
| 市水道局 | 昭和二、二、五 | 昭和二、四、一〇 | 昭和四、三、三 | 一 | — | 一 |
| 市土木局 | 昭和二、三、三 | 昭和二、七、七 | 昭和四、九、三 | — | — | — |
| 市電氣局 | 昭和三、六、五 | 昭和四、六、六 | 昭和四、六、六 | — | — | — |
| 東京電燈株式會社 | 昭和二、二、五 | 昭和二、五、五 | 昭和四、二、三〇 | 九 | — | 九 |
| 東京瓦斯株式會社 | 昭和二、二、六 | 昭和二、四、二五 | 昭和四、二、一〇 | 七九 | — | 七九 |
| 遞信省 | — | 昭和四、九、三 | 昭和四、九、三 | — | — | — |
| 計 | — | — | — | — | — | — |

第一 要求工事

本地區に於ける要求工事は千四十六件其の延長七千五百十間三八、掘鑿面坪二千四百七十二坪七一にして、之を事業者別に見るときは市水道局百七十八件其の延長三千六百一十一間六七、掘鑿面坪千八十九坪一九、東京電燈株式會社百四十九件其の延長九百四十三間九五、掘鑿面坪四百四十五坪八八、東京瓦斯株式會社七百十九件其の延長二千九百五十四間七六、掘鑿面坪九百三十七坪六四なり、尙之を類別すれば大掘鑿六十五件其の延長五千三百三十五間三八、掘鑿面坪千八百二十四坪二三、小掘鑿九百八十一件其の延長二千七百七十五間、掘鑿面坪六百四十八坪四八なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

| 年 度 | 大 掘 鑿 | | 小 掘 鑿 | | 計 | |
|----------|-------------|--------------------------|---------------------------|--------|----------------|---------------------|
| | 件數 | 延長 | 件數 | 延長 | 件數 | 延長 |
| 昭和二年 | 市水道局 | 二 九四九・四〇 ^間 | 二五 三三四・五〇 ^坪 | — | — | — |
| | 東京電燈株式會社 | 一三 六四・九〇 | 一五・二七 | — | — | — |
| 東京瓦斯株式會社 | 五 五八四・七〇 | 一六〇・六九 | 五九 八八〇・七〇 | 二六四・三三 | 五四 一、四六五・四〇 | 四九〇・九〇 ^坪 |
| 計 | — | — | — | — | — | — |

れば大掘鑿六十五件其の延長五千三百三十五間三八、掘鑿面坪千八百二十四坪二三、小掘鑿九百八十一件其の延長二千七百七十五間、掘鑿面坪六百四十八坪四八なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

| 年 度 | 大 掘 鑿 | | 小 掘 鑿 | | 計 | | | |
|------|----------|----------|----------|---------|--------|----------|----------|----------|
| | 件數 | 延長 | 掘鑿面坪 | 件數 | 延長 | 掘鑿面坪 | | |
| 昭和二年 | 市 水 道 局 | 二 | 九四九・四〇 | 二五 | 六四・六 | 一九六 | 一、五七三・六 | 四九〇・五七 |
| | 東京電燈株式會社 | 一三 | 六四・九〇 | — | — | 一三 | 六四・九〇 | 一五・二七 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 五 | 五四・七〇 | 五九 | 八八〇・七〇 | 五八四 | 一、四六五・四〇 | 四四〇・九〇 |
| 計 | 二九 | 一、五九〇・〇〇 | 七四 | 一、五〇四・九 | 七三三 | 三、一〇三・九 | 九四〇・七四 | |
| 昭和三年 | 市 水 道 局 | 三 | 一四七・八〇 | 二〇 | 一五九・八〇 | 二三 | 三〇七・六〇 | 八四・三六 |
| | 東京電燈株式會社 | 八 | 二六・二〇 | — | — | 八 | 二六・二〇 | 九六・九三 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 一 | 一四・四〇 | — | — | — | — | 九三・四三 |
| 計 | 一二 | 一四一・四〇 | 二〇 | 一五九・八〇 | 三三 | 三三三・四三 | 二七四・七三 | |
| 昭和四年 | 市 水 道 局 | 四 | 一、〇八・八三 | 一五 | 二二・五六 | 一九 | 一、七三〇・五九 | 五四・二四 |
| | 東京電燈株式會社 | 八 | 四七・二五 | 二〇 | 二五・八〇 | 二八 | 六六二・九五 | 三三・六八 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 二 | 二、一六・二〇 | — | — | — | — | 四九・三三 |
| 計 | 一四 | 一、五七・三三 | 三五 | 四八・三六 | 四七 | 一、七九二・五四 | 一三三・二五 | |
| 合 計 | 市 水 道 局 | 一八 | 一、七〇六・〇三 | 六〇 | 九〇五・六四 | 一七八 | 三、六一・六七 | 一、〇八九・一九 |
| | 東京電燈株式會社 | 一九 | 七三・二五 | 二〇 | 二五・八〇 | 一九 | 九四三・九五 | 四四・八八 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 八 | 八九・二〇 | — | — | — | — | 九三・七四 |
| 計 | 三五 | 一、八〇八・四八 | 八〇 | 九三一・四四 | 一九七 | 四、〇六〇・一六 | 一、五七三・七一 | |

前記要求工事千四十六件の内道路後修を要したるもの九百十三件金額八千八百二十六圓九十九錢あり、其の支拂狀況を示せば左の如し。

| 事業者 | 昭和三年度 | | 昭和四年度 | | 昭和五年度 | | 支拂未済 | | 計 |
|----------|-------|----------|-------|----------|-------|----------|------|----------|---|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | |
| 市水道局 | 八 | 九六七・六四 | 三 | 一、三三二・七四 | 三 | 一、三三七・二二 | 二〇 | 四、〇〇〇・五七 | |
| 東京電燈株式會社 | 五 | 七三・六五 | 九 | 一、三九二・七〇 | 一 | 一〇二〇・五四 | 七 | 一、五七三・四六 | |
| 東京瓦斯株式會社 | 二 | 六五八・〇四 | 四 | 一、七三三・七九 | 一 | 四三三・二六 | 二 | 三、二二二・六六 | |
| 計 | 二二 | 一、七三九・三三 | 一六 | 四、四六〇・九一 | 七 | 二、四八三・九一 | 二九 | 八、八八六・九一 | |

第二 非要求工事

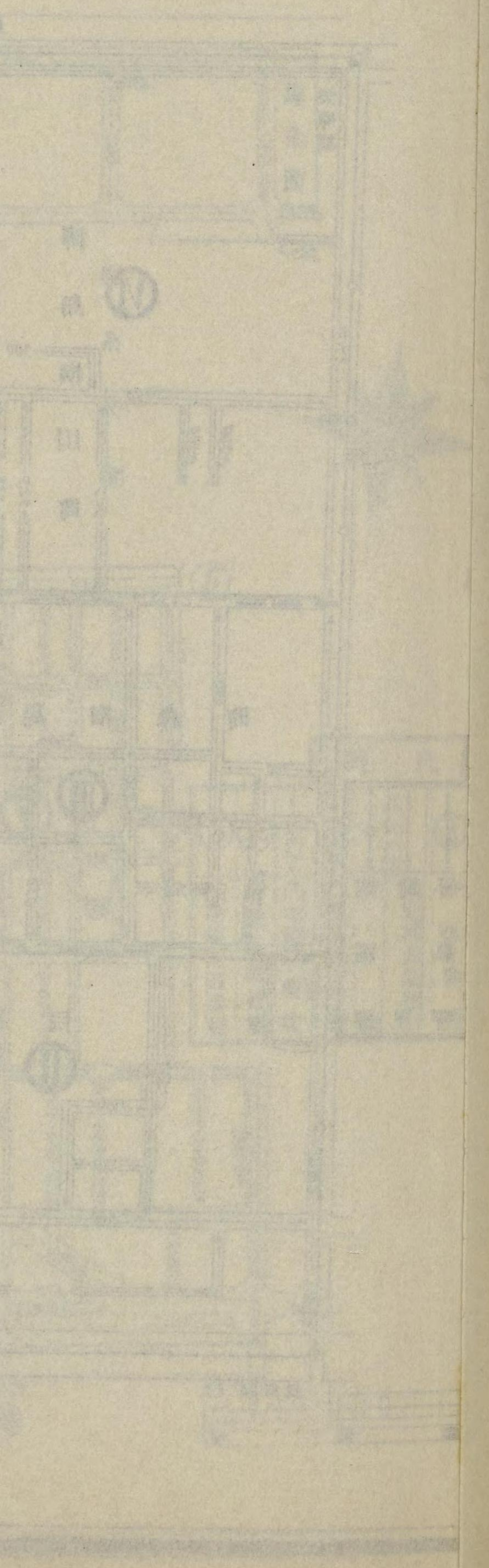
本地區に於ける非要求工事は二千五百五十三件其の延長一萬七千八百四十一間、掘鑿面坪六千六百二十二坪六にして、之を事業者別に見るときは市水道局二百四十五件其の延長二千五百四十二間〇七、掘鑿面坪六百六十八坪九五、市土木局下水課七件其の延長二千七百三十四間八、掘鑿面坪千七百四十二坪六二市電氣局一件其の延長六間三三、掘鑿面坪三坪九、東京電燈株式會社五十八件其の延長二千九百九十五間五四、掘鑿面坪千二百九十六坪五三、東京瓦斯株式會社千八百四十一件其の延長九千五百四十二間四六、掘鑿面坪二千八百九十一坪八九、遞信省一件其の延長十九間八、掘鑿面坪八坪七一なり、尙之を類別すれば大掘鑿百二十一件其の延長一萬四千四百四間六四、掘鑿面坪四千七百八十一坪一一、小掘鑿二千三十二件其の延長六千四百三十六間三六、掘鑿面坪千八百三十一坪四九なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

| 年 | 度 | 大掘鑿 | | 小掘鑿 | | 計 | |
|----------|---------|--------|--------------------|-----|---------------------|----|---------------------|
| | | 件数 | 延長 | 件数 | 延長 | 件数 | 延長 |
| 昭和二年 | 市水道局 | 一 | 九〇〇 ^間 | 二九 | 七三三・八四 ^間 | 二〇 | 七四四・八四 ^間 |
| | 市土木局下水課 | 二 | 七五二・〇五 | 一 | 一八三・九六 ^坪 | 二 | 七五二・〇五 |
| 東京電燈株式會社 | 九 | 七〇二・八〇 | 四三・二〇 ^坪 | 一 | 一 | 九 | 七〇二・八〇 |
| 計 | | | | | | | |

第四十八地區

卷之四

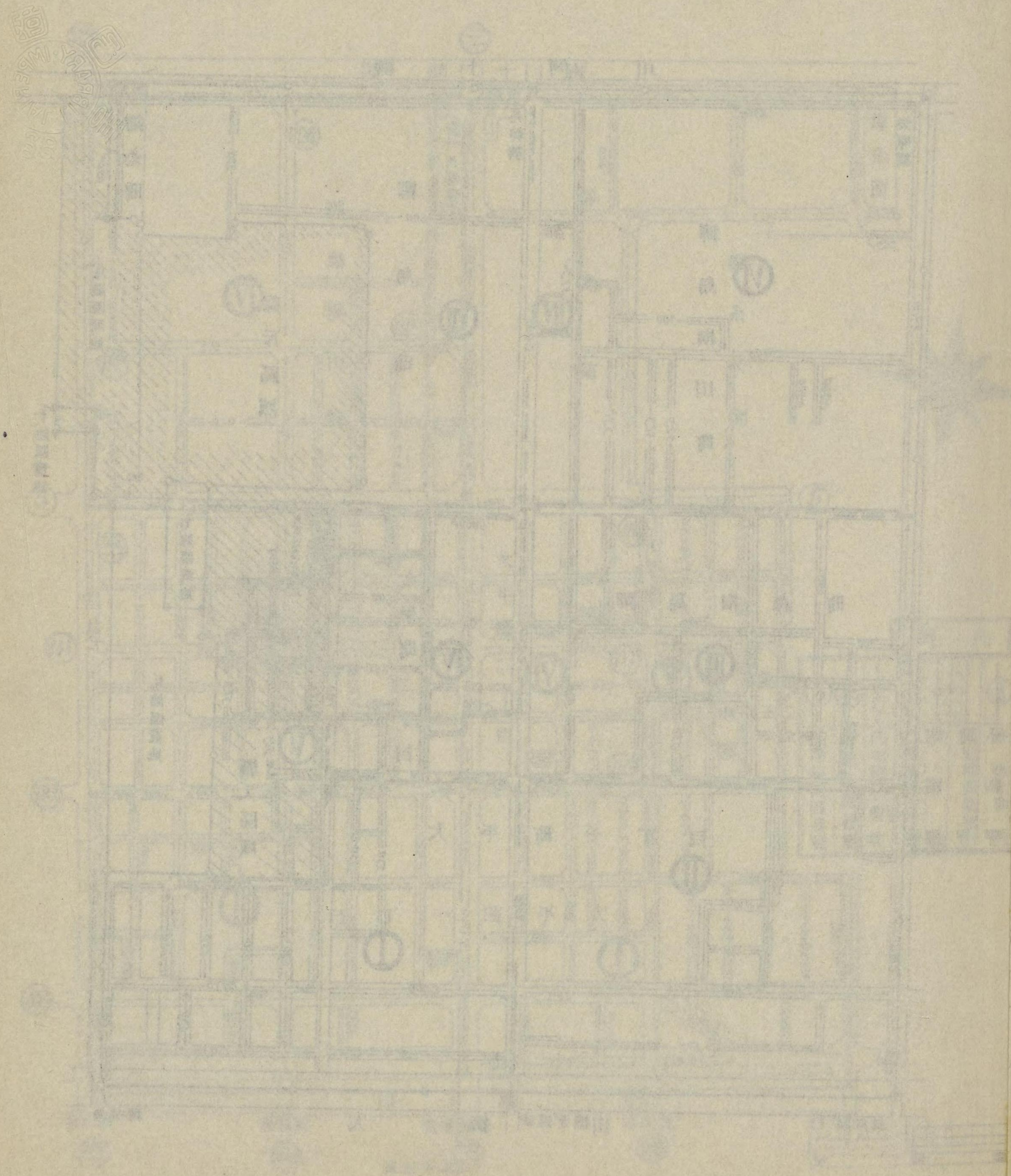
卷之四



卷四十八

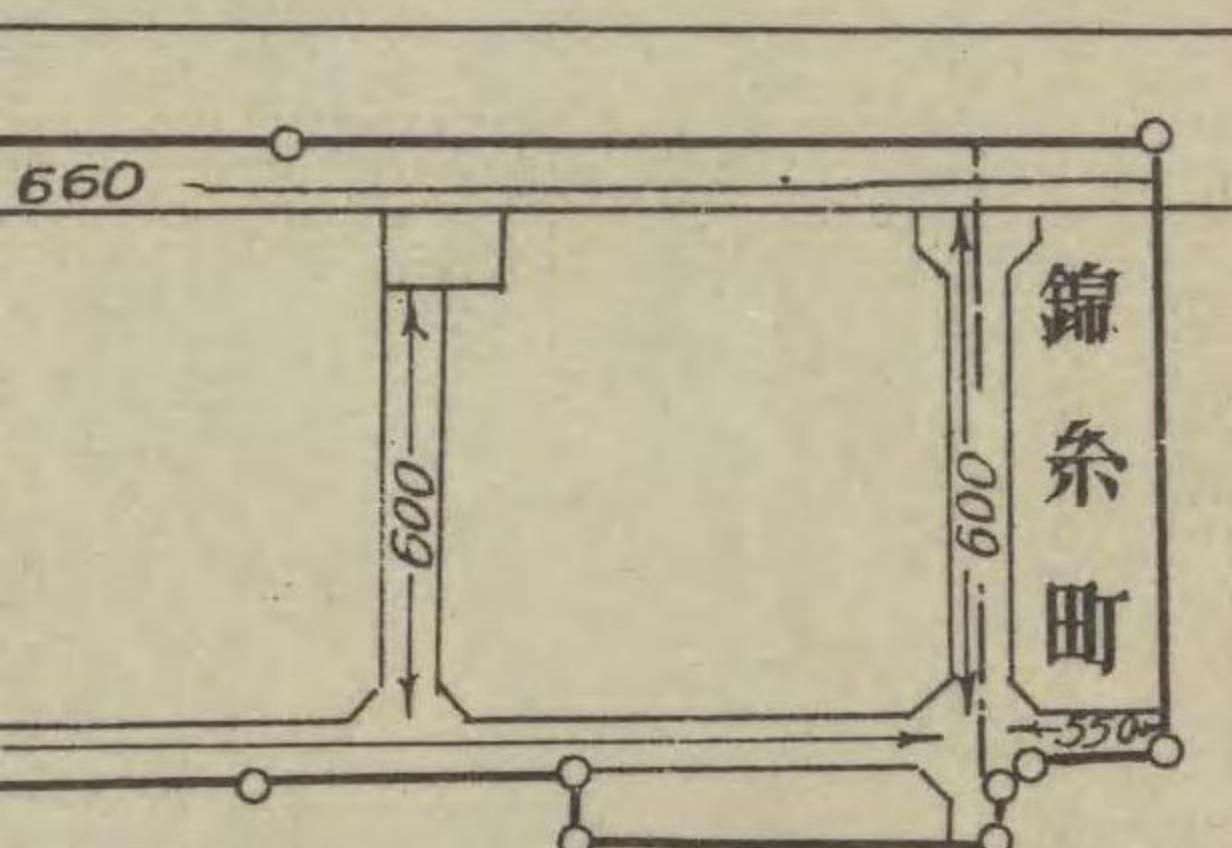
圖四 橋及此種

(整理圖)

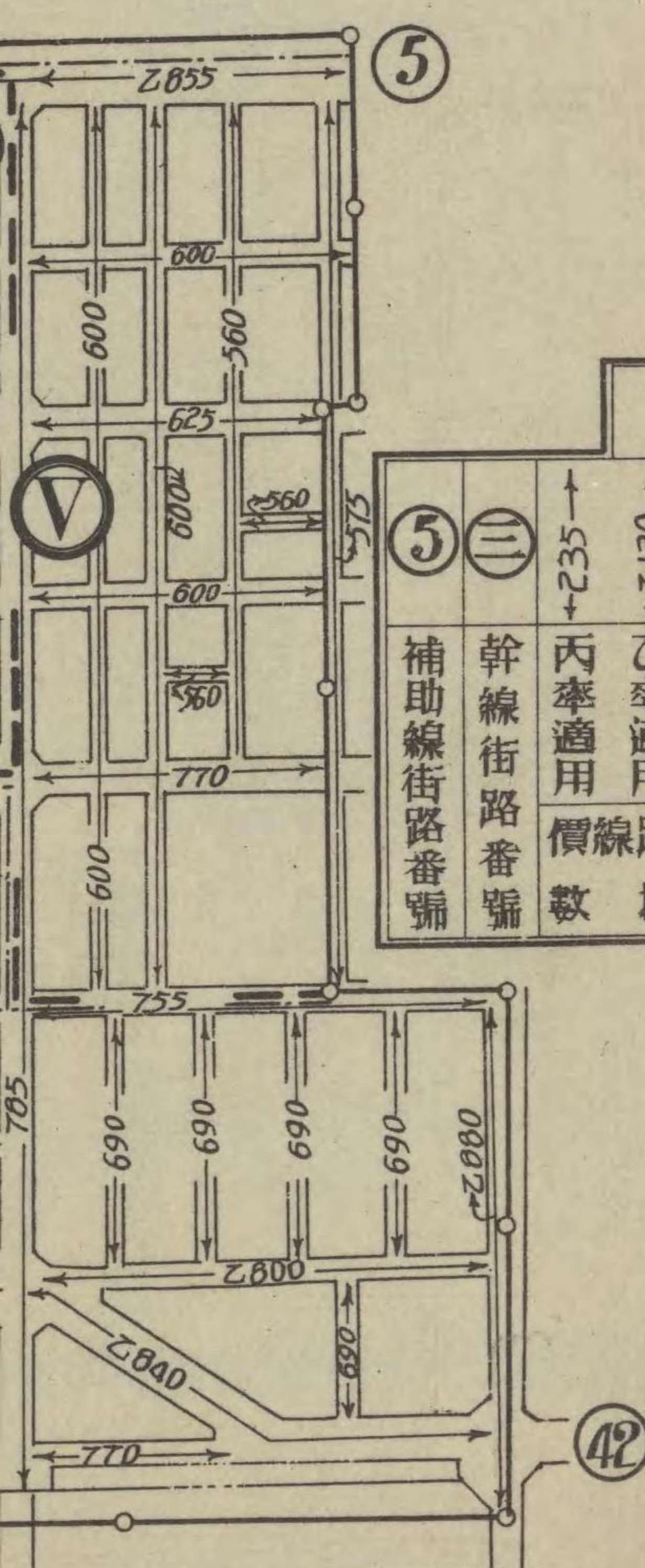
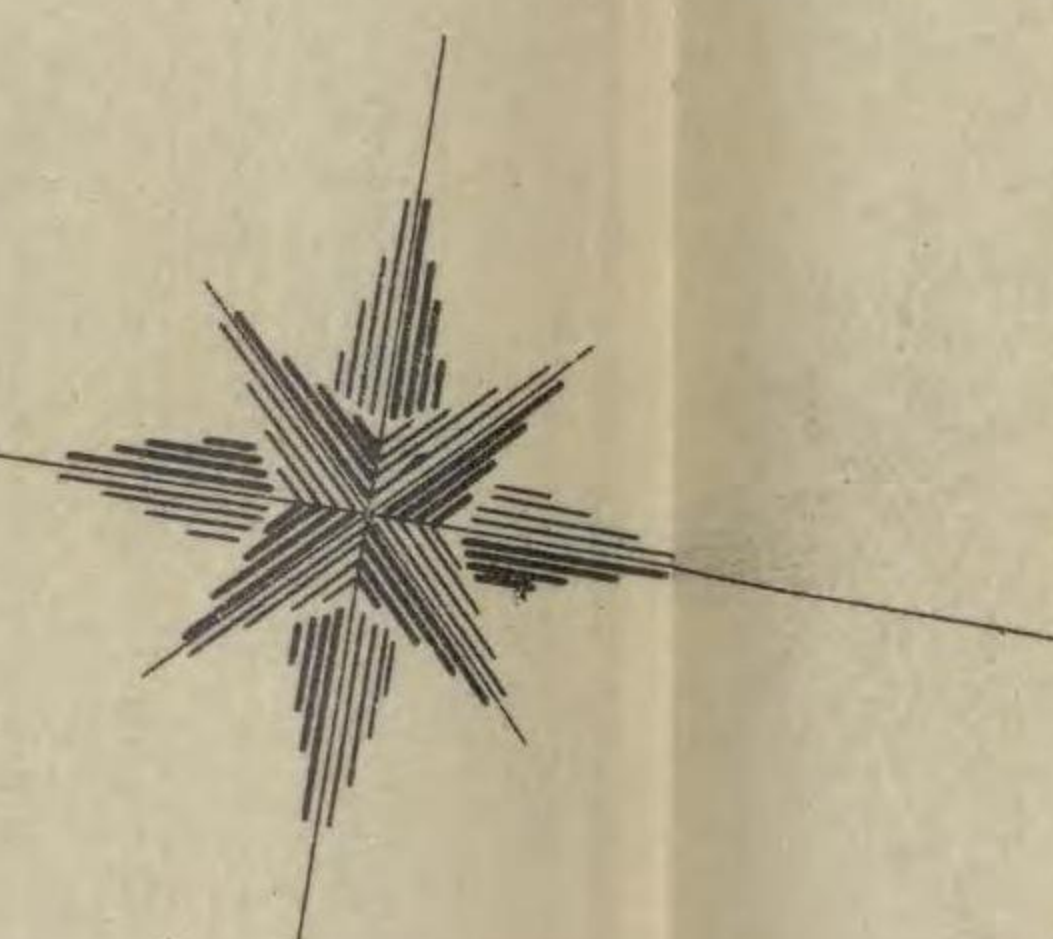


第四十八地整區理前概

(整) (前理整)

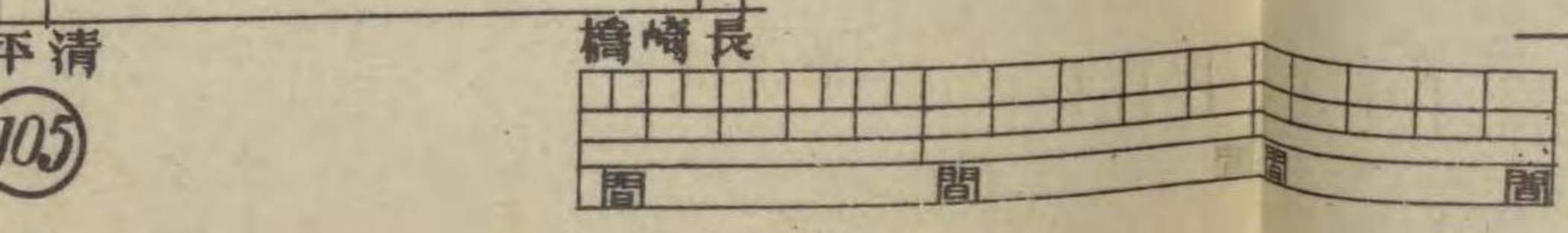
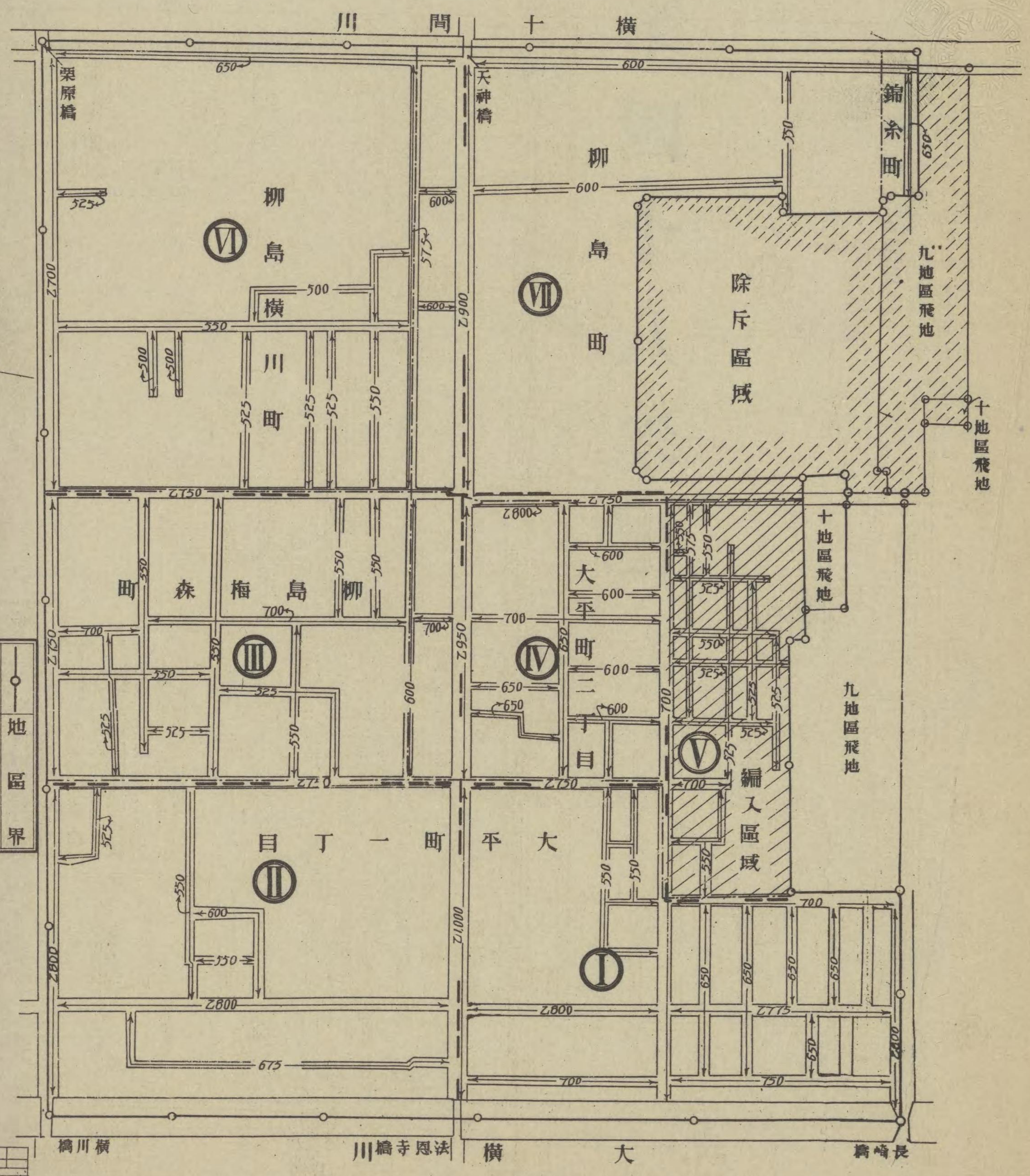


錦糸公園



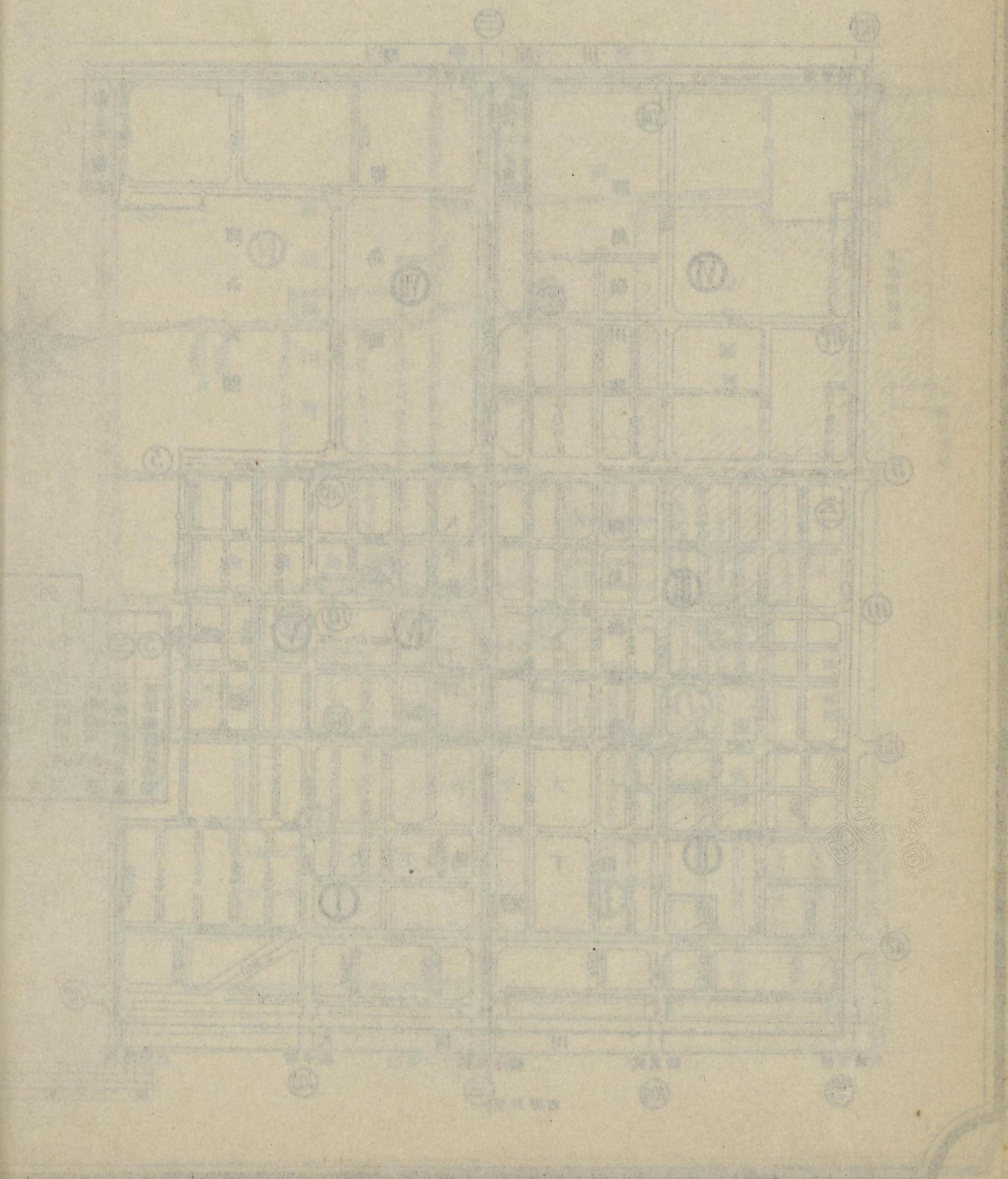
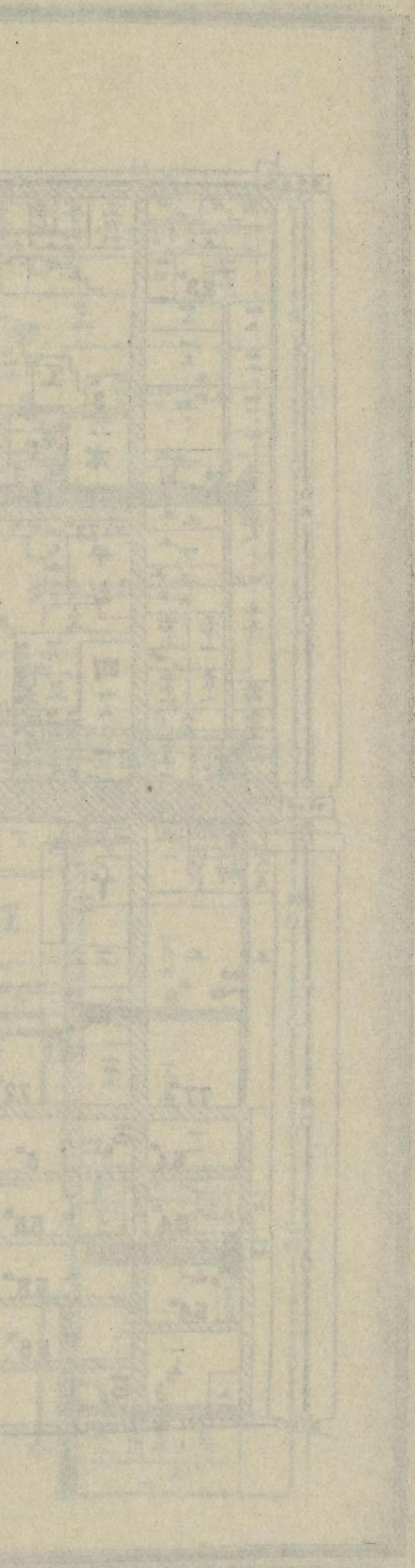
例凡

| | | | |
|---------|--------|-----------|-----------|
| ⑤ | ③ | ② | ○ |
| 補助線街路番號 | 幹線街路番號 | 丙率適用價線路指數 | 乙率適用價線路指數 |
| (25%) | 全 | 借地權利割合 | 分區番號 |
| | | | 分區界 |
| | | | 町界 |
| | | | 地區界 |

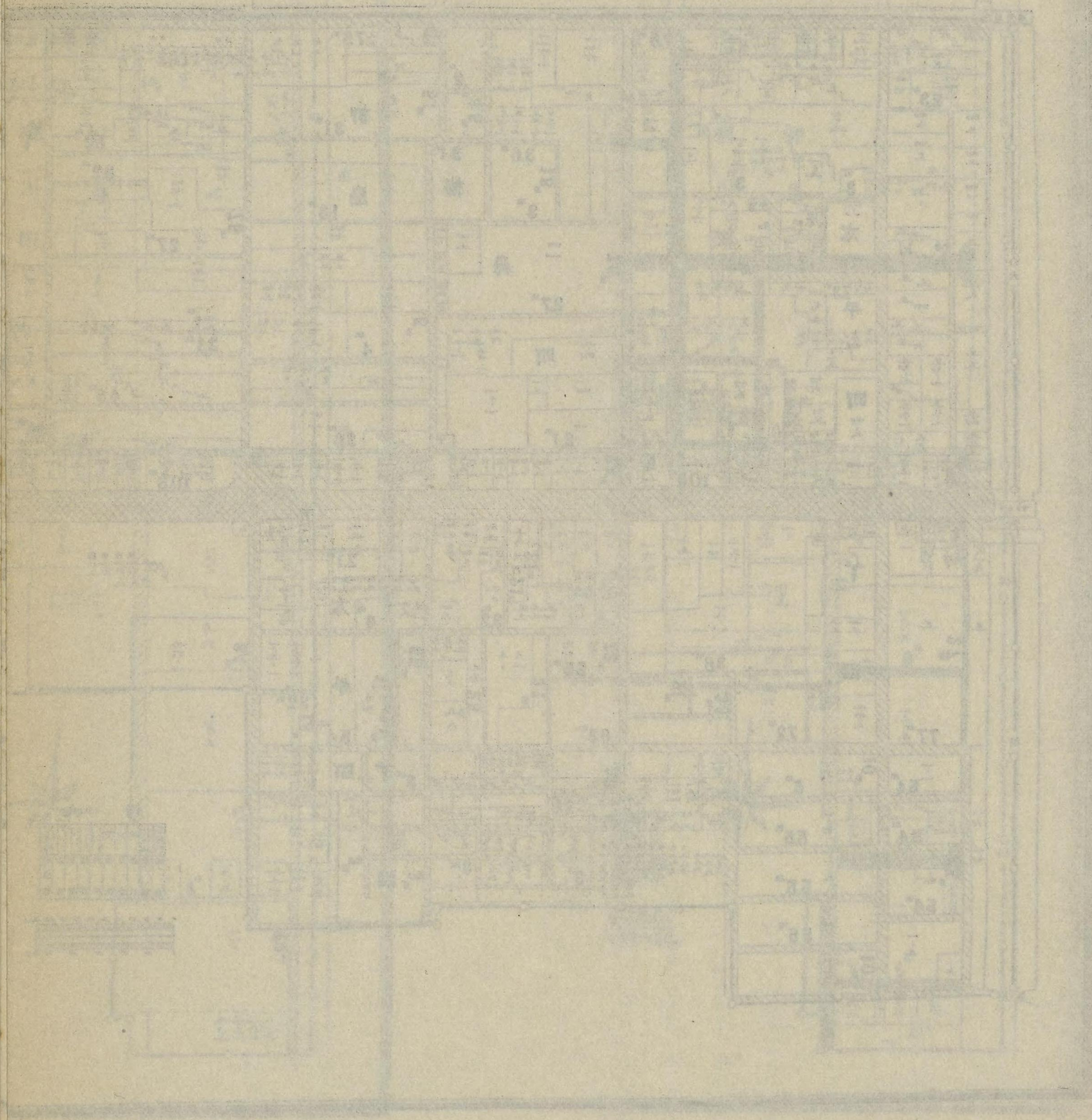


第一圖 總圖

(總圖)

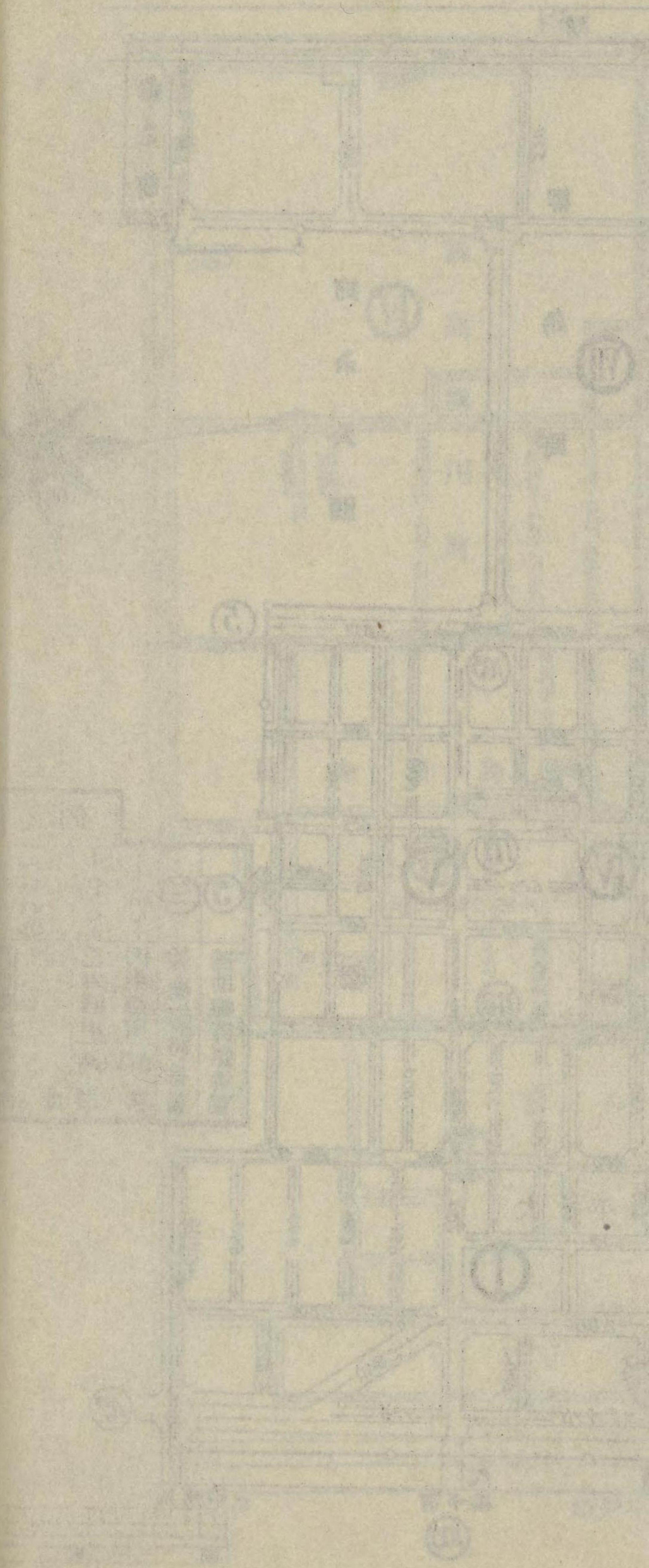


圖四十八 蘇州府城圖

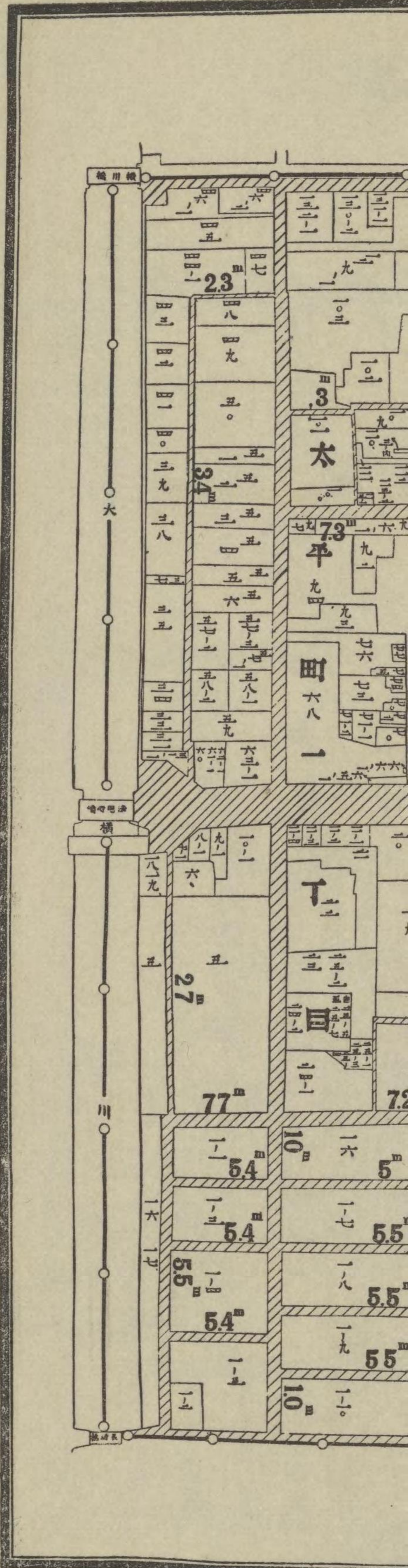
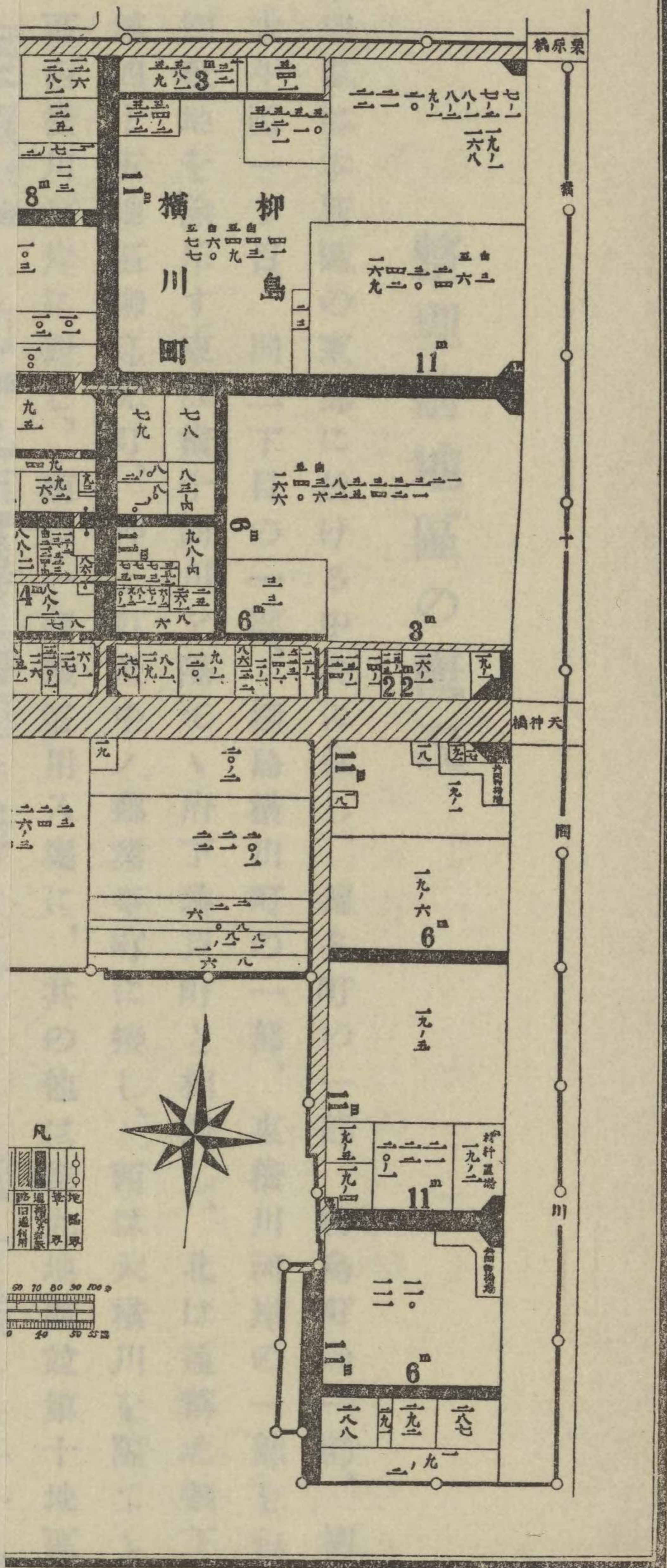


蘇州府城圖

(蘇州府城圖)

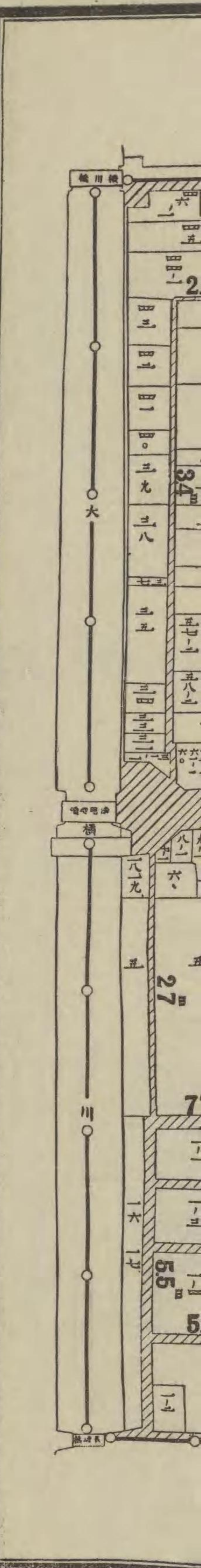
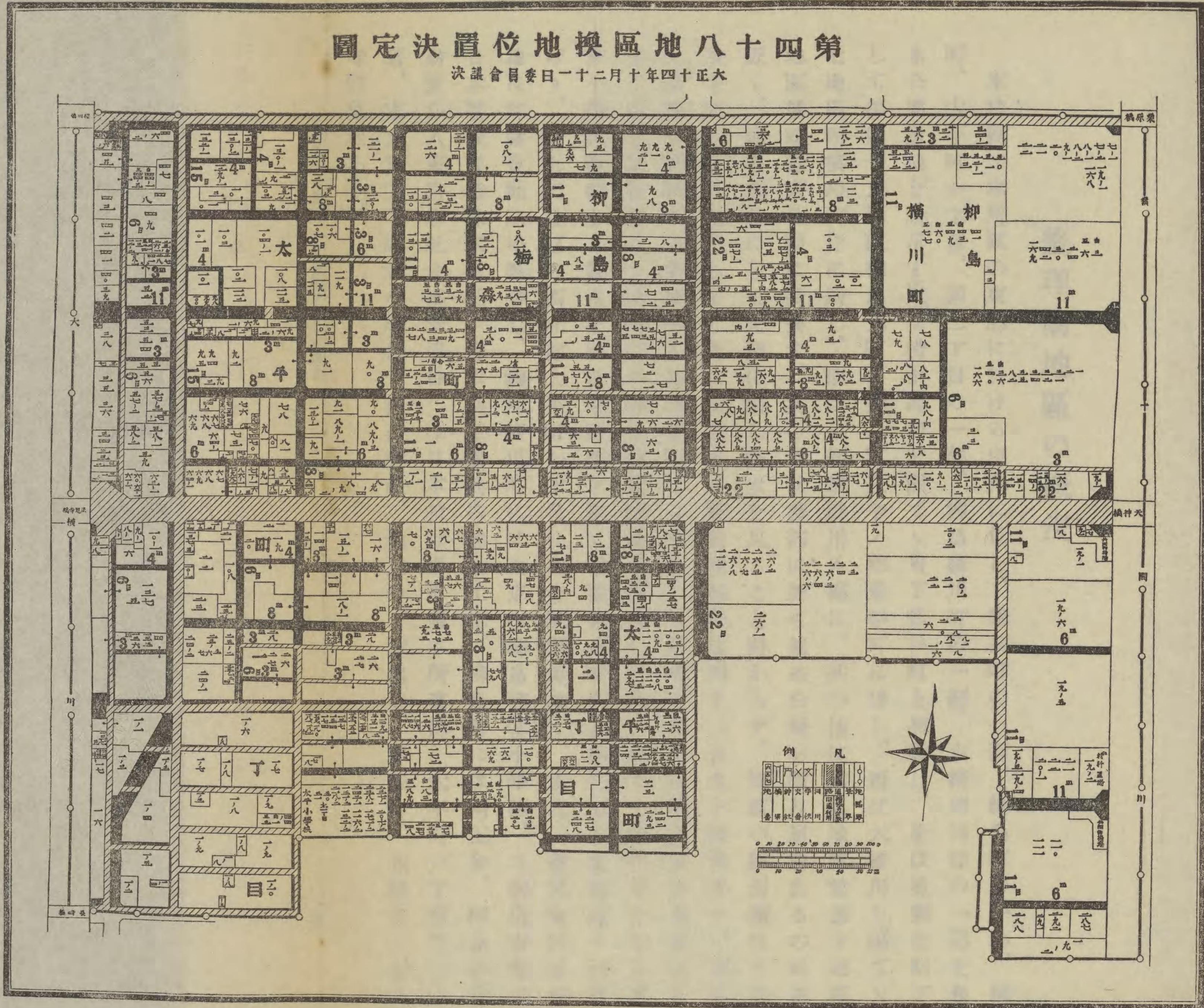


育

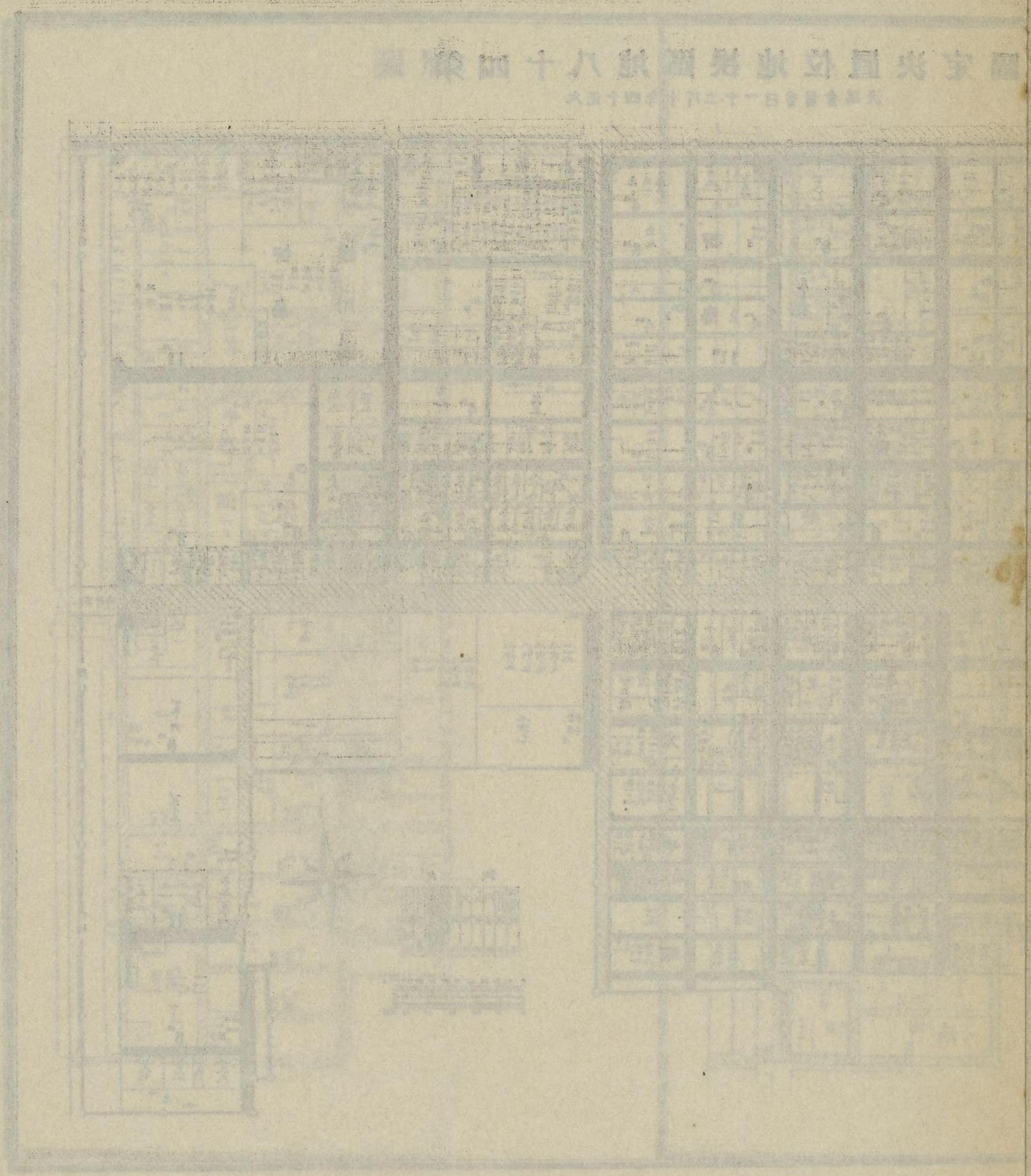


第四十八區地換地位置定圖

大正十四年十二月一日委員會議決



東京府外郎街十八番地
大正十一年一月一日



整理前地区の概況

本地区は本所区の東部に於ける中央に位し、錦糸町の一部、柳島町の一部、柳島梅森町、太平町一丁目、同二丁目の一部、柳島横川町の一部、東横川河岸の一部を包括し、錦糸公園敷地を除く。東は横十間川を隔て、府下龜戸町と相對し、北は通稱北割下水を界

して第四十五地区柳島元町、柳島上町及中ノ郷業平町に接し、西は大横川を隔て、第四十

整理前地區の概況

本地區は本所區の東部に於ける中央に位し、錦糸町の一部、柳島町の一部、柳島梅森町、太平町一丁目、同二丁目の一部、柳島横川町の一部、東横川河岸の一部を包括し、錦糸公園敷地を除く東は横十間川を隔て、府下龜戸町と相對し、北は通稱北割下水を界して第四十五地區柳島元町、押上町及中ノ郷業平町に接し、西は大横川を隔て、第四十七地區西横川河岸に對し、南は一部鐵道用入堀に、其の他は第九地區並第十地區の飛換地區域並錦糸公園に隣接す、其の形狀南部に於て錦糸公園を圍み屈曲あるの外正方形に近く、地勢低濕にして大雨に際し浸水を見ること尠からず、地區の總面積は十九萬七千五百坪八合八勺にして、之に所在する建物總棟數は四千三百九十四棟なり、地區の中央を東西に横斷する街路即ち法恩寺橋より東走し天神橋に至る通稱法恩寺橋通は交通最も多く商業殷賑なり、地區の中部を前記街路と直交し南北に通ずる街路即ち東京市柳島尋常小學校西側より錦糸公園敷地西側を経て市電錦糸町停留場に至る通稱四ツ目通之に次ぐり、而して地區の西北部太平町一丁目には寺院墓地多く、東部一帶並東西運河の河岸地には諸會社工場等多し、柳島横川町には東京市柳島尋常小學校、日清染布株式會社、日本醋酸製造株式會社、青木染工場其の他諸工場、柳島町には精工舎、柳島梅森町には財團法人東京府社會事業協會、在日本救世軍財團本所支部、太平町一丁目には太平警察署、東京市太平尋常小學校、稻荷神社、法恩寺、靈山寺、本法寺、永隆寺、本佛寺等の寺院墓地あり。

甲 整地

第一章 土地區劃整理委員會

第一節 委員

第一 土地區劃整理委員及同補闕委員の選舉

第四十八地區土地區劃整理委員並同補闕委員の定數は各十八人にして、其の選舉を大正十三年九月六日本所區役所に於て執行したるに、何れも左記の適當選したり。

一 土地區劃整理委員

土地所有者の部

市川 國松 喜多 武秀 岡本 大助 鈴木 英吉 青木 直治

杉野 善作 新甫 寬實 梅本 榮次郎 君塚 常右衛門

借地權者の部

宮崎 憲文 鈴木 吉次郎 河野 春吉 寺尾 徳三 小濱 竹治郎

中頭 常藏 松永 嘉次郎 吉野 元吉 中山 專三

二 同上補闕委員

土地所有者の部

渡邊 俊吉 稻垣 廣三 齋藤 五郎 三谷 桂次郎 三宅 正雄

押田 武雄 田中 柳三 田中 弘三 大澤 初七

借地權者の部

大角 政次郎 宮岡 友 土田 喜一 江原 新十郎 榊原 廣吉

竹島 金次郎 蛭間 長三郎 村上 文太 塚田 伊之吉

第二 議長並副議長の選舉

大正十三年九月二十六日本所區役所に招集したる第一回土地區劃整理委員會に於て、假議長中山專三

二 同上補闕委員

土地所有者の部

渡邊俊吉 稻垣廣三 齋藤五郎 三谷桂次郎 三宅正雄
押田武雄 田中柳三 田中弘三 大澤初七

借地権者の部

大角政次郎 宮岡友 土田喜一 江原新十郎 榊原廣吉
竹島金次郎 蛭間長三郎 村上文太 塚田伊之吉

第二 議長並副議長の選舉

大正十三年九月二十六日本所區役所に招集したる第一回土地區劃整理委員會に於て、假議長中山專三議長及副議長の選舉を執行したるに、左記の適當選したり。

議長 杉野善作 副議長 小濱竹治郎

第三 土地區劃整理委員の異動

土地區劃整理委員は換地處分の結了に至る迄左の如く異動したり。

- 一 土地所有者選出委員君塚常右衛門大正十五年二月二十五日死亡したるに因り、同年四月八日同補闕委員渡邊俊吉補充せらる。
- 二 借地権者選出委員松永嘉次郎大正十五年九月十八日死亡したるに因り、同月二十一日同補闕委員大角政次郎補充せらる。
- 三 土地所有者選出委員鈴木英吉昭和三年十月二十六日辭任したるに因り、同年十一月十五日同補闕委員稻垣廣三補充せらる。

第二節 諮問及答申

一 諮問第一號 整理前土地面積決定期日に關する件

土地區劃整理換地配當の標準たる従前の土地面積は、大正十四年七月二十日現在の土地臺帳面積に依らむとす、但し七月十日限東京市役所へ出願したる者にして訂正を受けたるときは其の面積に依る

ものとす。

右大正十四年六月十三日諮問 同日原案可決の上答申

二 諮問第二號 換地位置決定に關する件 (地區全部)

大正十四年六月十三日諮問 委員會六回 協議會六回開催 同年十月二十六日修正決議の上答申

三 諮問第三號 整理前路線價指數並各筆平均坪當指數に關する件 (地區全部)

大正十四年十月二十六日諮問 委員會二回 協議會三回開催 同年十二月四日路線價指數に付ては原案を可決し各筆坪當指數に付ては修正決議の上答申

議事要綱

本件審議の結果、路線價指數に關しては原案の通可決し、各筆坪當平均指數に關しては實地調査の上一部達観修正を爲すと共に、左記條件を付して決議せり。

記

今後不合理の點を發見したるときは修正することを得。

四 諮問第四號の一 換地面積決定に關する件 (太平町二丁目、柳島梅森町、柳島横川町の各一部)

大正十五年四月十五日諮問 委員會一回 協議會二回開催 同日原案可決の上答申

五 諮問第四號の二 換地面積決定に關する件 (柳島町、太平町一丁目、柳島横川町の各一部)

大正十五年六月二十四日諮問 委員會一回 協議會一回開催 同日原案可決の上答申

六 諮問第五號の一 換地位置變更に關する件 (柳島町の一部)

大正十五年六月二十四日諮問 同日原案可決の上答申

七 諮問第四號の三 換地面積決定に關する件 (柳島町、錦糸町の各一部)

大正十五年八月十四日諮問 委員會一回 協議會一回開催 同日原案可決の上答申

八 諮問第五號の二 換地位置變更に關する件 (柳島町、錦糸町の各一部)

大正十五年八月十四日諮問 委員會一回 協議會三回開催 同日原案可決の上答申

九 諮問第六號の一 整理後路線價指數に關する件 (地區全部)

大正十五年八月十四日諮問 委員會三回 協議會三回開催 昭和四年四月十一日原案可決の上答申

六 諮問第五號の一 換地位置變更に関する件 (柳島町の一部)

大正十五年六月二十四日諮問 同日原案可決の上答申

七 諮問第四號の三 換地面積決定に関する件 (柳島町、錦糸町の各一部)

大正十五年八月十四日諮問 委員會一回 協議會一回開催 同日原案可決の上答申

八 諮問第五號の二 換地位置變更に関する件 (柳島町、錦糸町の各一部)

大正十五年八月十四日諮問 委員會一回 協議會三回開催 同日原案可決の上答申

九 諮問第六號の一 整理後路線價指數に関する件 (地區全部)

大正十五年八月十四日諮問 委員會三回 協議會三回開催 昭和四年四月十一日原案可決の上答申

一〇 諮問第四號の四 換地面積決定に関する件 (柳島横川町、柳島梅森町の各一部)

大正十五年九月二十七日諮問、委員會一回 協議會三回開催 同日修正決議の上答申

一一 諮問第五號の三 換地位置變更に関する件 (柳島横川町、柳島梅森町の各一部)

大正十五年九月二十七日諮問 同日原案可決の上答申

一二 諮問第四號の五 換地面積決定に関する件 (太平町一丁目的一部)

大正十五年十一月二日諮問 同日修正決議の上答申

一三 諮問第五號の四 換地位置變更に関する件 (太平町一丁目的一部)

大正十五年十一月二日諮問 同日修正決議の上答申

一四 諮問第六號の二 整理後各筆坪當平均指數に関する件 (太平町一丁目的一部)

大正十五年十一月二日諮問 委員會三回 協議會三回開催 昭和四年四月十一日原案可決の上答申

一五 諮問第四號の六 換地面積決定に関する件 (太平町一丁目、太平町二丁目、柳島梅森町、柳島横川町の各一部)

大正十五年十二月二十四日諮問 委員會一回 協議會一回開催 同日修正決議の上答申

一六 諮問第五號の五 換地位置變更に関する件 (太平町一丁目、太平町二丁目、柳島梅森町、柳島横川町の各一部)

大正十五年十二月二十四日諮問 委員會一回 協議會一回開催 同日修正決議の上答申
 一七 諮問第六號の三 整理後各筆坪當平均指數に關する件 (太平町一丁目、太平町二丁目、柳島森町、柳島横川町の各一部)
 大正十五年十二月二十四日諮問 委員會二回 協議會三回開催
 昭和四年四月十一日原案可決の上答申

一八 諮問第七號 換地位置竝面積一部變更に關する件 (柳島梅森町、太平町一丁目の各一部)

昭和二年十一月十五日諮問 委員會二回開催 同三年一月二十七日原案可決の上答申

一九 諮問第八號 換地位置竝面積變更に關する件 (太平町一丁目、同二丁目の各一部)

昭和三年一月二十七日諮問 委員會二回 協議會一回開催 同年三月十二日原案可決の上答申

二〇 諮問第九號 整理前路線價指數竝各筆坪當平均指數の一部變更に關する件 (地區全部)

昭和四年三月九日諮問 委員會三回 協議會三回開催 同年四月十一日原案可決の上答申

二一 諮問第十號 換地面積一部變更に關する件 (地區全部)

昭和四年三月九日諮問 委員會二回 協議會一回開催 同年四月十一日原案可決の上答申

二二 諮問第十一號 換地處分に關する件

昭和四年三月九日諮問 委員會二回 協議會一回開催 同年四月十一日原案可決の上答申

二三 諮問第十二號 補償金配當に關する件

特別都市計畫法第八條第一項の補償金配當割合は補償總指數を特別都市計畫法施行令第二十八條第一項に依る各權利の整理前指數に按分したる率に依らむとす、但し左記の土地に對する配當の額は整理前指數相當額と爲さむとす。

記

| 所 | 在 | 地 | 番 | 所 | 在 | 地 | 番 | 所 | 在 | 地 | 番 |
|--------|---|-----------------------|---|-------|---|------------------|---|-------|---|-------|---|
| 太平町一丁目 | | 四六ノ一 | | 柳島横川町 | | 自八〇〇ノ一 至八〇〇ノ九 | | 柳島横川町 | | 一四七ノ二 | |
| 同 一丁目 | | 二八、二九、四〇、 四一、四二、合併 | | 同 | | 八八ノ一三 | | 同 | | 一五一 | |
| 同 一丁目 | | 二九八ノ三 | | 同 | | 一三九ノ一 | | | | | |

り變更するに決し、大正十五年三月六日内務省告示第二十三號を以て之を告示せられたるに依り、昭和二年三月十九日東京市告示第七十五號を以て柳島町の一部除斥を告示したり。

又太平町二丁目の一部及錦糸町の一部は第九地區及第十地區に飛地として編入せるを以て本地區より除斥したり(但し本地區には當初より前記兩町の各一部として編入しありしを以て除斥の手續を要せず)

錦糸公園變更理由

錦糸公園は曩に本所區太平町二丁目の内面積約一萬八千坪として決定したるも、其の後元陸軍糧秣本廠用地の讓受方に付大藏當局の承認を得たるを以て、之を柳島町に變更するものなり。

本地區に於ける街路及河川分布の狀況を述べれば左の如し。

一 主要街路

地區の稍中央部を東西に貫通する街路、即ち法恩寺橋より天神橋に至る法恩寺橋通は幅員十二間にして交通頻繁なり。

二 其の他の街路

地區の北側第四十五地區界横川橋より東走する通稱北割下水通は中央に幅員約二間の下水を存し其の兩側の幅員各三間なり、地區の西部に於て大横川に並行して南下する街路は幅員約五間、太平町一丁目百二十番ノ一地先より同町と柳島梅森町との界を南下し、太平町二丁目七十四番地先に至る街路は幅員約三間半、柳島尋常小學校西側より南へ錦糸公園敷地西側を経て市電錦糸町停留場に通ずる通稱四ツ目通は幅員四間乃至四間半、横十間川に沿ふ街路は幅員約三間にして、其の他は系統稍整然たるも其の數少なく且幅員狭小にして交通不便なり。

三 河川

横十間川は地區の東側に在り、幅員平均十二間三分、深度二尺四寸にして舟楫の便あり、河心を地區

界とす、大横川は地區の西端に在り、幅員平均十八間四分、深度三尺七寸にして舟楫の便に富み、河心を地區界とす。

通は幅員四間乃至四間半、横十間川に沿ふ街路は幅員約三間にして、其の他は系統稍整然たるも其の數
少なく且幅員狭小にして交通不便なり。

三河川

横十間川は地區の東側に在り、幅員平均十二間三分、深度二尺四寸にして舟楫の便あり、河心を地區

界とす、大横川は地區の西端に在り、幅員平均十八間四分、深度三尺七寸にして舟運の便に富み、河心
を地區界とす。

第三章 計畫の大要

第一節 街路及運河計畫

本地區に於ける特別都市計畫委員會議定の街路及運河左の如し。

第一 幹線街路

第二十二號線は地區の中央部を東西に法恩寺橋より天神橋に至る幅員二十二米の街路にして、中部太
平町二丁目地内に於て南側に擴張したる外、在來法恩寺橋通を改修せり(本街路は區劃整理直前に於て電
氣局に於て買收擴張せるものなり)第五十一號線は地區の西北端横川橋より第四十五地區界を東走し補助
線第五號に終る幅員二十二米の街路にして、在來北割下水通の南側に擴張し、中央下水は埋設暗渠と爲
せり。

第二 補助線街路

第五號線は京成電車押上驛方面より南下して幹線第二十二號と交叉し、錦糸公園西側を過ぎ錦糸町方
面に至る幅員二十二米の街路にして、在來四ツ目通の兩側に擴張せり、第四十二號線は淺草驛方面より
地區の西方を大横川に並行して南下し、幹線第二十二號線と交叉して補助線第百五號に至り西南に斜走
し、東横川河岸に沿ひ省線錦糸町驛の西側に通ずる幅員十五米の街路にして、幹線第五十一號より同第
二十二號迄の間は兩側に、以南補助線第百五號迄は西側に擴張し、其の以南斜走せる部分は新設、東横

川河岸沿ひの部分は東側に擴張せり、第百四號線は地區の西北部新設紅葉橋より、幹線第五十一號と第二十二號との中間を東走して横十間川に達する幅員十一米の街路にして新設なり、第百五號線は地區の西南新設清平橋より東走して錦糸公園西北隅に至り、補助線第五號に合する幅員十一米の街路にして、在來街路の兩側に擴張せり、第百十號線は第四十五地區中ノ郷業平町方面より南下して幹線第五十一號及第二十二號と交叉し、東京市太平尋常小學校の東側に至り補助線第百五號に終る幅員十一米の街路にして、多くは在來街路の東側に新設せり、第百十一號線は第四十五地區柳島公園方面より補助線第五號と同第百十號との中間を南走し、幹線第五十一號及第二十二號と交叉し補助線第百五號に終る幅員十一米の街路にして、幹線第二十二號以北は在來街路の兩側に、以南は西側に擴張せり、第百十二號線は第四十五地區柳島元町方面より南下し、幹線第五十一號を経て第二十二號に終る幅員十一米の街路にして新設なり、第百十三號線は地區の東北端栗原橋西詰橋臺地より市外龜戸町に至る幅員十一米の街路にして、本地區内は橋臺地のみ在來街路の兩側に擴張せり。

第三 區劃整理街路

區劃整理街路は幹線第五十一號終點補助線第五號との交叉點より東へ補助線第百十三號の起點(栗原橋西詰)に至る迄の間幅員十四米五の在來街路を改修せるものゝ外、三米、四米、五米五、六米、八米及十米にして、土地の状況及幹線、補助線の連絡に考慮を拂ひ、新設、擴張又は改修を爲し舊來の面目を一新せり、尙横十間川沿ひ街路は同運河を改修し、其の機能を充分活用せしめむが爲之を廢止せり。

第四 運河

横十間川は國施行の改修運河にして河幅を擴張して四十米となし、河底を浚渫して深度を一米八と爲す、其の幅員擴張の爲切取りたる面積三千八百四十七坪三合にして、内宅地千九百坪七合九勺、公共用地千九百四十六坪五合一勺なり。

以上述べたる幹線、補助線及區劃整理街路の幅員、延長及面積を表示すれば左の如し。

整理後街路幅員延長面積調

| 區分 | 番號 | 幅員 | 延長 | 面積 | 備考 |
|----|-----|-------|--------|--------|----|
| | 111 | 11.00 | 215.01 | 671.50 | |

第四 運 河

横十間川は國施行の改修運河にして河幅を擴張して四十米となし、河底を浚渫して深度を一米八と爲す、其の幅員擴張の爲切取りたる面積三千八百四十七坪三合にして、内宅地千九百坪七合九勺、公共用地千九百四十六坪五合一勺なり。

以上述べたる幹線、補助線及區劃整理街路の幅員、延長及面積を表示すれば左の如し。

整理後街路幅員延長面積調

| 區分 | 番號 | 幅員 | 延長 | 面積 | 備考 |
|-----|----|-------|---------|---------------------|----------------------|
| 幹線 | 計 | 三三〇〇 | 九四・〇二 | 六、七一・五 ^坪 | 地區界 |
| | 五 | 三三〇〇 | 五三・四五 | 三、二〇・六七 | |
| | 三 | 三三〇〇 | 一、四七・四七 | 九、九三・三七 | |
| | 五 | 三三〇〇 | 六七・四 | 四、一七・七九 | |
| | 四 | 一五〇〇 | 六九・二五 | 三、七五・四六 | |
| | 二 | 二〇〇 | 八七・四二 | 三、三三・〇一 | |
| | 一 | 二〇〇 | 五〇・二四 | 一、八五・二五 | |
| | 一〇 | 二〇〇 | 四六・三三 | 一、四八・三九 | |
| | 二 | 二〇〇 | 四六・〇〇 | 一、五三・七〇 | |
| | 三 | 二〇〇 | 三〇・九 | 一、二四・五九 | |
| 補助線 | 計 | 一一〇〇 | 三、九〇・八三 | 一六、六五・八九 | 地區界 |
| | 三 | 一一〇〇 | 一四・五 | 六八・〇〇 | |
| | 三 | 一一〇〇 | 三〇・九 | 一、二四・五九 | |
| | 二 | 一一〇〇 | 四六・〇〇 | 一、五三・七〇 | |
| | 二 | 一一〇〇 | 四六・三三 | 一、四八・三九 | |
| | 一 | 二〇〇 | 五〇・二四 | 一、八五・二五 | |
| | 一 | 二〇〇 | 八七・四二 | 三、三三・〇一 | |
| | 二 | 一五〇〇 | 六九・二五 | 三、七五・四六 | |
| | 四 | 一五〇〇 | 六七・四 | 四、一七・七九 | |
| | 五 | 三三〇〇 | 九四・〇二 | 六、七一・五 ^坪 | |
| 計 | | 一一〇〇 | 一、一八・三三 | 四、七五・二〇 | 舊道存置 地區界 一部地區界 |
| | | 一四・五〇 | 三、九〇・八三 | 一六、六五・八九 | |

第四十八地區 甲 整地

第四十八地區 甲 整地

整理前公共用地面積内譯

| | | | | | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|----|-------|-------|--------|---------|
| 街 | | 路 | | 河川運河 | 公園 | 共同物揚場 | 堤塘 | 溝渠 | 合計 |
| 國有 | 公有 | 公有 | 民有 | 小計 | | | | | |
| 一五、五七・三 | 四、六〇・八 | 五、三〇・七 | 四、七九・八 | 六、〇五・八 | — | 一七・七 | 二五九・四 | 三、九四・四 | 三六、二七・三 |

整理後公共用地面積内譯

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|---------|--------|---------|--------|-------|------|----|---------|
| 街 | | 路 | | 河川運河 | 公園 | 共同物揚場 | 堤塘 | 溝渠 | 合計 |
| 幹線 | 補助線 | 整理區 | 整理線劃 | 小計 | 在來 | 新設 | 在來 | 新設 | |
| 九、九七・三 | 一六、六五・八 | 二四、〇四・一 | 四、四一・五 | 一〇、〇〇・九 | 九、九〇・三 | — | 一六・八 | — | 一六、〇七・三 |

宅地が公共用地となりたる面積

| | | | | | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|--------|----|-------|------|----|---------|
| 街 | | 路 | | 河川運河 | 公園 | 共同物揚場 | 堤塘 | 溝渠 | 合計 |
| 幹線 | 補助線 | 整理區 | 整理線劃 | 小計 | | | | | |
| 一、八六・五 | 二〇、三七・六 | 二五、五七・七 | 二七、五七・九 | 一、九〇・七 | — | 三三・五 | 二八・八 | — | 二九、九〇・六 |

公共用地が宅地となりたる面積

| | | | | | | | | | |
|--------|------|--------|--------|------|----|-------|-------|------|--------|
| 街 | | 路 | | 河川運河 | 公園 | 共同物揚場 | 堤塘 | 溝渠 | 合計 |
| 國有 | 公有 | 公有 | 民有 | 小計 | | | | | |
| 一、三九・四 | 六四・七 | 二、三九・五 | 三、八八・三 | — | — | 八五・〇 | 二〇九・八 | 六二・二 | 四、七四・〇 |

| | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|
| 一、八三六・五三 ^坪 | 一、九〇〇・七九 ^坪 | 三九三・三五 ^坪 | 二九、九〇〇・八六 ^坪 |
| 補助線 | — ^坪 | 二八・八二 ^坪 | — ^坪 |
| 整理線 | — ^坪 | — ^坪 | — ^坪 |
| 小計 | — ^坪 | — ^坪 | — ^坪 |

公共用地が宅地となりたる面積

| | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------|-----------------------|----------------------|------|----|--------------------|---------------------|--------------------|-----------------------|
| 一、三九八・四五 ^坪 | 六四・七二 ^坪 | 二、三九五・一九 ^坪 | 三、八五・三六 ^坪 | 坪 | 坪 | 八五・〇六 ^坪 | 二〇九・八六 ^坪 | 六二・二七 ^坪 | 四、七四四・四三 ^坪 |
| 國有 | 公有 | 民有 | 小計 | 河川運河 | 公園 | 共同物揚場 | 堤塘 | 溝渠 | 合計 |

備考 各公共用地の整理前面積に宅地が公共用地となりたる面積を加へ、「公共用地が宅地となりたる面積」を減ずるも整理後面積に合致せざるは、公共用地間の用途變更を爲したるものあるに依る。

本地區の平均減歩率は一割六分三厘にして換地設計上支障ありたるを以て、潰地充當用として六千八百十三坪七合五勺を買収せり、之が爲實際潰地面積は一萬九千四十二坪六合六勺に減少し、其の減歩率一割二分八厘に低下したり、然るに猶ブロック間に於ける減歩率區々に互りたるを以て之が調節の爲、ブロック間に宅地の移出入を行ひ其の設計を了せり。

第四章 土地の評價

第一節 整理前土地の評價

整理前路線價指數並土地各筆平均坪當指數に關する件は、大正十四年十月二十六日土地區劃整理委員會に附議し、同年十二月四日修正決議せるも、其の後昭和四年三月九日路線價指數及各筆平均坪當指數一部變更に關する件を提出し、同年四月一日原案の通可決せり。

一 本地區整理前の土地評價には路線價に對する奥行價格百分率中乙及丙の兩率を適用したり、其の路線價指數は土地の狀況に依り五百個乃至千個と評定せり、即ち通稱法恩寺橋通の内太平町一丁目内を最高千個、柳島横川町内私道を最低五百個と定めたり、而して路線價指數に基き算出し之に地盤の高低に依る達觀を加へたる土地各筆平均坪當指數の最高は千八十二個、太平町一丁目八十六番ノ二にして、最低は三百一十個、柳島横川町四十一番乃至四十九番なり。

宅地全筆の總指數は土地總指數八千二百四十二萬七千九百七個より私道指數八萬一個を控除したる八千二百三十四萬七千九百六個にして、之を宅地總面積の十五萬四千五百三十三坪五合八勺にて除したる平均坪當指數は五百三十三個なり。

借地權利價割合は國有寺地及市有墓地を九割、市有河岸地を五割五分、一般宅地を二割五分と定めたり。

第二節 整理後土地の評價

整理後路線價指數に關する件は大正十五年八月十四日、整理後各筆平均坪當指數に關する件は同年十一月二日、各土地區劃整理委員會に附議し審議中なりしが、昭和四年四月十一日換地處分案決定と同時に何れも原案の通可決せり。

整理後の土地評價には整理前と同じく路線價に對する奥行價格百分率中乙及丙の兩率を適用したるの外横十間川に河川價を附し丙率を適用したり、其の路線價指數は土地の整理狀況に依り五百個乃至千二百個と評定せり、即ち幹線第二十二號中法恩寺橋通の内太平町一丁目内整理前最高の個所を最高千二百二十個、太平町一丁目内の新設三米區劃整理路線を最低五百個と定めたり、而して路線價及河川價指數に基き算出し之に地盤の高低に依る達觀を加へたる土地各筆平均坪當指數の最高は千百七十六個、太平

町一丁目百六十七番にして、最低は四百五個、柳島横川町六十一番なり。

換地全筆の總指數は七千九百一十一萬八千四百五十一個にして、之を換地總面積の十二萬九千四百七坪一合七勺にて除したる平均坪當指數は六百一十個なり。

借地權利價割合は整理前同様國有寺地及市有墓地を九割、市有河岸地を五割五分、一般宅地を二割五分と定めたり。

以上記述せる整理前後に於ける最高、最低の路線價指數並各筆平均坪當指數及宅地總面積平均坪當指數を示す。

整理後の土地価格に整理前と同じく路線価格の對する身行價格百分率中乙及丙の兩率を適用したるの外横十間川に河川價を附し丙率を適用したり、其の路線價指數は土地の整理狀況に依り五百個乃至千二百二十個と評定せり、即ち幹線第二十二號中法恩寺橋通の内太平町一丁目内整理前最高の個所を最高千二百二十個、太平町一丁目内の新設三米區劃整理路線を最低五百個と定めたり、而して路線價及河川價指數に基き算出し之に地盤の高低に依る達觀を加へたる土地各筆平均坪當指數の最高は千七百七十六個、太平

町一丁目百六十七番にして、最低は四百五個、柳島横川町六十一番なり。

換地全筆の總指數は七千九百一十一萬八千四百五十一個にして、之を換地總面積の十二萬九千四百七坪一合七勺にて除したる平均坪當指數は六百一十一個なり。

借地權利割合は整理前同様國有寺地及市有墓地を九割、市有河岸地を五割五分、一般宅地を二割五分と定めたり。

以上記述せる整理前後に於ける最高、最低の路線價指數並各筆坪當指數及宅地總平均坪當指數を表示すれば左の如し。

整理前後路線價各筆坪當宅地總平均坪當指數調

| 區分 | 整理前 | | 整理後 | |
|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| | 指數 | 價格 | 指數 | 價格 |
| 路線價 | 最高 一、〇〇〇個 | 一八〇・〇〇円 | 最高 一、一〇〇個 | 二〇一・六〇円 |
| | 最低 五〇〇 | 九〇・〇〇 | 最低 五〇〇 | 九〇・〇〇 |
| 各筆坪當 | 最高 一、〇八二 | 一九・七六 | 最高 一、二七六 | 二二・六六 |
| | 最低 三三二 | 五・九八 | 最低 四〇五 | 七・九〇 |
| 宅地總平均坪當 | 五三三 | 九五・九四 | 六一一 | 一九・九六 |

備考 指數單價は十八錢なり。

又整理前後に於ける所有權、借地權の評定權利指數を掲ぐれば左の如し。

整理前後所有權借地權評定權利指數調

| 區分 | 整理前 | | 整理後 | |
|-----|---|---|-----------------|--------------------|
| | 指數 | 價格 | 指數 | 價格 |
| 所有權 | (内私道) 六五、〇四八、七三三 外 (八〇、〇〇二) 二、七六一、三三五 | 二、七〇八、七六六、九六六 一四、四〇〇、〇一八 五〇〇、六三三、三三〇 | 六四、六六六、九六八 個 | 二、六三三、〇五四、二四四 円 |
| 借地權 | 一四、五九八、三〇〇 | 二、六七、六九四、〇〇〇 | 一四、五六一、四八三 | 二、六〇〇、六六六、九四四 |
| 合計 | (内私道) 七九、六四六、六三三 外 (八〇、〇〇二) 二、七六一、三三五 | 一四、三三六、四〇〇、六六六 一四、四〇〇、〇一八 五〇〇、六三三、三三〇 | 七九、二八、四五一 | 一四、四二四、三三二、二八 |

備考 一 整理前外書は潰地充當用買收地の指數及價格なり。
 二 整理前土地の總指數潰地充當用買收地の指數を包含するものは八二四二七、九〇七個なり。
 三 整理前宅地の總指數私道の指數を包含せざるものは八二、三四七、九〇六個なり。

第五章 換地處分

第一節 換地處分案の決定

換地處分に關する件及補償金の配當に關する件は、昭和四年三月九日各別に土地區劃整理委員會に諮問し、同年四月十一日何れも原案の通可決したるを以て、同月十五日内務大臣に本地區の土地區劃整理

設計、換地處分及土地補償金の配當方法決定に關する認可申請を爲し、同月二十五日認可、同日内務省告示第二百二十號を以て換地處分認可の告示あり、依て即日東京市告示第八十四號を以て右換地處分の件認可ありたるに付、土地補償金受領權利者は四月二十五日より同月二十九日迄に東京市復興事業局第四出張所に申告書を提出すべき旨を告示せり、而して本地區に於て換地處分を爲したる土地は所有地整理前五百九十二筆、整理後六百二十五筆、借地整理前千三百五十五件、整理後千三百五十九件なり、土

第一節 換地處分案の決定

換地處分に關する件及補償金の配當に關する件は、昭和四年三月九日各別に土地區劃整理委員會に諮問し、同年四月十一日何れも原案の通可決したるを以て、同月十五日内務大臣に本地區の土地區劃整理

設計、換地處分及土地補償金の配當方法決定に關する認可申請を爲し、同月二十五日認可、同日内務省告示第二百十號を以て換地處分認可の告示あり、依て即日東京市告示第八十四號を以て右換地處分の件認可ありたるに付、土地補償金受領権利者は四月二十五日より同月二十九日迄に東京市復興事業局第四出張所に申告書を提出すべき旨を告示せり、而して本地區に於て換地處分を爲したる土地は所有地整理前五百九十二筆、整理後六百二十五筆、借地整理前千三百五十五件、整理後千三百五十九件なり、土地權利者は所有權者整理前後共八百八十二人、借地權者整理前九百五十四人、整理後九百五十人なり。

土地各筆清算に際しては整理前清算土地評定權利指數七千九百六十四萬六千六百七十二個を以て、換地の評定權利指數七千九百一十一萬八千四百五十一個を除したる比率〇・九九三三六八を、整理前の各筆權利指數に乗じて整理前の比例權利指數を算出せり。

換地處分の結果左の如し。

一 清算を爲したるもの

| 換地説 明書別 | 從 前 の 土 地 | | | 換 地 | | | 計 算 上 の 清 算 | | | 清 算 | |
|------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| | 面 所有地 | 積 借地 | 比例權利指數 | 面 所有地 | 積 借地 | 評定權利指數 | 徵 收 | 交 付 | 徵 收 | 交 付 | |
| 甲 | 一五〇七・二五五 ^坪 | 四八四六・三三三 ^坪 | 六七九〇・九七三 ^個 | 一九四三・四九七 ^坪 | 三八一三・一一一 ^坪 | 六七・七六三 ^個 | 四三七八・五七三 ^円 | 四一九五・八七〇 ^円 | 五三〇七・六九六 ^円 | 三四二八・五九四 ^円 | 三七七六・八五四 ^円 |
| 乙 | — | 七三〇四・六二二 ^坪 | 一一一五・七四七 ^個 | — | 六五・三二七 ^坪 | 一一三三・〇八八 ^個 | 八七六・七三四 ^円 | 五二八・一〇七 ^円 | — | 七〇〇一・九八二 ^円 | 三五二・三三三 ^円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|------|--------|-------|------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 計 | 二〇六二五 | 六五〇六 | 一九四三・八 | 二九四四七 | 六九四八 | 一四四三三・八 | 七二八四三 | 五五四四七 | 四三三九七 | 三〇七六六 | 四三三七・六 | 四三三七・六 |
|---|-------|------|--------|-------|------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|

備考 一 換地説明書別欄、甲は所有権と所有権者にして借地権を有するもの、借地権との清算を、乙は借地権のみの清算を掲ぐ。

二 従前の所有地面積は臺帳面積にして、借地面積は申告面積なり。

三 甲借地面積は乙より移記したるものにして、乙借地面積は甲に移記したるものを除きたる面積なり。

二 特別處分を爲したるもの

特別處分を爲したるもの、内換地を交付せず清算金を交付したるもの多きは、所有地に付ては私設道路を公道としたるもの、又は一筆宅地として利用不適當なるもの、賃借權に付ては同一所有者の二筆以上に涉りて權利を有するものに對し之を一筆に取纏め換地したるもの、又は實際私道たりしものを處分したるに依る。

一 換地を交付し清算を行はざりしもの

| 所有者 | 従前の土地 | | | 換地 | | | 摘要 | | |
|-----|---------------|-----|-----------|--------------------|---------------|----|-----------|-------------------|--|
| | 區町丁目 | 地番 | 地目 | 面積 | 區町丁目 | 地番 | | 地目 | |
| 東京市 | 本所區 太平町一丁目 | 五ノ二 | 共同 物揚場 | 一五・〇〇 ^坪 | 本所區 太平町一丁目 | 二 | 共同 物揚場 | 一五・七 ^坪 | |

二 換地を交付せず清算金を交付したるもの

| 權利者 | 區町丁目 | 地番 | 地目 | 權利別 | 面積 | 指數 | 價格 | 摘要 |
|-----|---------------|------|----|-----|-------------------|-------------------|--------------------|----------|
| 法恩寺 | 本所區 太平町一丁目 | 八六ノ二 | 宅地 | 所有權 | 一・三三 ^坪 | 一、三二 ^個 | 一三七・六 ^円 | 小面積なるによる |

| | | | | | | | | |
|-----|-----------------|-----|-----------|--------------------|-----------------|---|-----------|--------------------|
| 東京市 | 本所區 目 太平町一丁目 | 五ノ二 | 共同 物揚場 | 一五・〇〇 ^坪 | 本所區 目 太平町一丁目 | 二 | 共同 物揚場 | 一五・五七 ^坪 |
|-----|-----------------|-----|-----------|--------------------|-----------------|---|-----------|--------------------|

二 換地を交付せず清算金を交付したるもの

| 権利者 | 區町丁目 | 地番 | 地目 | 權利別 | 面積 | 指數 | 價格 | 摘要 |
|-------|---------------|------|----|-----|-------------------|--------------------|--------------------|----------|
| 法 恩 寺 | 本所區 太平町一丁目 | 八六ノ二 | 宅地 | 所有權 | 一・三三 ^坪 | 一、三三二 ^個 | 二三七・七 ^円 | 小面積なるによる |
| 喜多吉兵衛 | 同 | 一ノ一一 | 道路 | 同 | 一、四八・五九 | 七九、四七〇 | 一四、三〇四・六〇 | 道路敷 |
| 大野忠藏 | 同 太平町二丁目 | 一二ノ一 | 宅地 | 同 | 六・三〇 | 三、五三三 | 六四一・番 | 協定による |
| | 同 | 一三二 | 同 | 賃借權 | 一五・三〇 | 二、二八二 | 四〇・七 | 道路敷 |
| | 同 | 一三二 | 同 | 同 | 五・七〇 | 一三、七六六 | 二、二九二・四八 | 同 |
| | 同 | 一三二 | 同 | 同 | 六・七〇 | 一〇、九六一 | 一、八七〇・五八 | 同 |
| 和田木勘七 | 同 | 一七二 | 同 | 同 | 六・二〇 | 二〇、四三二 | 三、六九・五 | 同 |
| | 同 | 一〇二 | 同 | 同 | 八五・六三 | 二〇、四三二 | 三、六九・五 | 同 |
| | 同 | 二〇二 | 同 | 同 | 六・三〇 | 二、九七九 | 二、二五・三 | 同 |
| | 同 | 二一八 | 同 | 同 | 六・三〇 | 二、九七九 | 二、二五・三 | 同 |
| | 計 | | | | 二九・三三 | 五七、八三〇 | 一〇、四九・四〇 | |
| 杉原覺次郎 | 同 | 一六ノ | 同 | 同 | 四・四八 | 一、六九八 | 三〇五・六 | 同 |
| | 同 | 二一 | 同 | 同 | 九・三三 | 二、〇六七 | 三七二・六 | 同 |

第四十八地區 甲 整地

第四十八地區 甲 整地

| 姓名 | 住所 | 宅地 | 賃借權 | 計 | 道路數 |
|--------|---------------|---------|-------|-------|-------|
| 伊藤大太郎 | 本所區 太平町二丁目 | 一六七(2) | 六・五〇 | 三、七五 | 一九・三 |
| 石和田喜之助 | 同 | 一七二(5) | 一〇・〇〇 | 一、二〇九 | 二七・三 |
| 池本林之丞 | 同 | 一七ノ(1) | 五・四七 | 一、三二 | 二八・六 |
| 長谷川又市 | 同 | 二二七(8) | 四・五〇 | 五七三 | 一〇三・四 |
| 八田萬吉 | 同 | 一六三(2) | 六・〇〇 | 八七二 | 一五・七 |
| 同 | 同 | 一六一(1) | 四・〇〇 | 五八一 | 一〇四・天 |
| 西島久太郎 | 同 | 一六四(2) | 八・〇〇 | 一、二六一 | 二〇八・九 |
| 西澤國太郎 | 同 | 二二七(14) | 五・〇〇 | 六三六 | 二四・四 |
| 堀越房五郎 | 同 | 一七二(6) | 五・〇〇 | 六〇五 | 一〇八・九 |
| 岡内壽美 | 同 | 二〇五(1) | 三・四三 | 一、二六七 | 三三・〇 |
| 計 | | 四〇ノ(3) | 二・二〇 | 一、四九〇 | 二六八・二 |

| 姓名 | 住所 | 宅地 | 賃借權 | 計 | 道路數 |
|------|----|--------|-------|-------|-------|
| 河村丑吉 | 同 | 四一ノ(4) | 五・四〇 | 七六 | 三〇・六 |
| 出井武舍 | 同 | 一一ノ(2) | 一・〇〇 | 一六〇 | 二八・〇 |
| 計 | | | 二、二六〇 | 二、二六〇 | 協定による |

| 三ツ木金太郎 | 佐藤かね | | | 秋葉忠三郎 | 小池留吉 | 藤井文治郎 | | 前川トミ | 中島岩松 | 出井武舎 | 河村丑吉 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|-------------|-------------|--------|--------|-------------|-------------|-------|
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 計 | 計 | | | 計 | | 計 | | 計 | | 計 | |
| 一八ノ 一(1) | 一六四(1) | 二〇〇(3) | 一九四(1) | 一七二(2) | 三六ノ 一(1) | 一七ノ 一(5) | 一八三(1) | 二二七(9) | 一二ノ 一(2) | 四一ノ 一(4) | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | |
| 二九・五 | 九・〇〇 | 五・〇〇 | 四・〇〇 | 三・〇〇 | 四・五〇 | 一四・七 | 二・一九 | 三・五 | 一四・〇〇 | 五・〇〇 | 一六・六 |
| 七、八四七 | 一、二二〇 | 七六 | 四八四 | 三六二 | 五四四 | 三、二六〇 | 二、四七八 | 七八二 | 一、六九三 | 六六 | 二、二六 |
| 一、四三、四同 | 二、七・八〇 | 一三〇・六同 | 八七・三同 | 五五・六同 | 九七・九二道路敷 | 五、六・八〇 | 四、六・四同 | 一四〇・六同 | 三〇四・七協定による | 二、八・八〇協定による | 二、二六 |
| | | | | | | | | | | | 三九・八 |
| | | | | | | | | | | | 三〇・六同 |

| 岡内壽美 | 同 | 同 |
|-------------|--------|---|
| 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 同 |
| 四〇ノ 一(3) | 二〇五(1) | |
| 同 | 同 | |
| 同 | 同 | |
| 二・二〇 | 三・四 | |
| 一、四九〇 | 一、二六七 | |
| 二、八・二〇協定による | 三、八・六同 | |

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 島崎兼吉 | 鈴木卯之助 | 野村はな | 大野傳三郎 | 服部金太郎 | 池澤 稻 | 池谷正一 | 田中力藏 | 福山藤三郎 | 在原尙一 | 坂倉林平 |
| 本所區 太平町二丁目 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 一六七 〇〇五七 (1)(5)(9) | 二二七 (12) | 二二七 (13) | 一三三 (3) | 二五 (1) | 二六 (13) | 二六 (18) | 二六 (5) | 二六 (7) | 二六 (1) | 一七〇 (1) |
| 宅地 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 賃借權 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 二〇〇 | 八〇〇 | 四・三〇 | 二・三〇 | 二七・三〇 | 三・二四 | 四・六 | 五・七 | 四・一〇 | 一九・五 | 四・〇〇 |
| 一、三〇〇 | 一、〇二八 | 五七 | 一、五五五 | 三、八七 | 六五七 | 九四九 | 一、一六七 | 八三 | 四、三五 | 五八〇 |
| 二三九・〇 道路敷 | 一八三・四 同 | 九六・四 同 | 二八・七 | 二、三九・六 道路敷 | 一八・六 同 | 一七〇・二 同 | 二〇〇・六 同 | 一九・九 同 | 七六・五 同 | 一〇四・〇 同 |
| | | | | 面積狭少なるによる | | | | | | |
| | | | | 協定による | | | | | | |

| | | |
|-------------------|-------------------|----------|
| 大隅常五郎 | 計 | 同 |
| 同 | 同 | 同 |
| 一九 (11) (一) | 一九 (11) (二) | 同 |
| 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 同 |
| 四・五〇 | 四・五〇 | 二・八〇 |
| 四、五六 | 五、〇三 | 四〇六 |
| 八五・三 協定に依る | 九〇・五 同 | 七五・八 道路敷 |

二 處分の制限の指定を爲したるもの假處分一件、所有權假登記六件、競賣申立一件、工場財團一件あり。

三 未登記の所有權以外の權利の指定を爲したるもの賃借權千三百四十五件あり。
備考 右の外係争中の賃借權三十三件、借地法第六條該當地四十二件あり。

第二節 清算金

第一 土地補償金を以て徵收清算金に充當

本地區に於ける換地處分は昭和四年四月二十五日內務大臣の認可あり、而して清算金徵收額は四十一萬二千八百七十一圓七十六錢にして人員六百三十八人なり、又土地補償金は同年五月一日補償審査會に於て四十萬五千八百九十錢人員千三百三十七人と決定せられ同月二日其の通知を受けたり、依て同年六月一日左記の通補償金を以て徵收清算金に充當處分を爲したり。

| 徵收清算金總額 | | 補償金總額 | | 補償金充當額 | | 充當後徵收清算金 | | 充當後交付補償金 | |
|-----------------------|-----|-------------------------|-------|------------------------|-----|------------------------|-----|------------------------|-----|
| 金額 | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 | 人員 |
| 四二、八七、七六 ^円 | 六三六 | 四〇五、一〇八、九〇 ^円 | 一、一三〇 | 一八七、七〇、一四 ^円 | 六三六 | 二二五、〇二、六二 ^円 | 三九六 | 二二七、三六、七六 ^円 | 七四九 |

第二 換地處分に關する通知

換地處分に關する通知書は豫め換地説明書及補償金清算金臺帳に依り之を作成し置き、前項充當處分を爲したる後直に之が送達に著手し、市内居住者に對しては人夫を使用して之を送達し、其の他に對しては書留郵便を以て之を送達せり。

第三 清算金の徵收

本地區に於ける徵收清算金總額は四十一萬二千八百七十一圓七十六錢なりしが、内十八萬七千七百八十圓十四錢に對し土地補償金を以て充當したる結果、各納付義務者より直接徵收すべき清算金は差引二十二萬五千九十一圓六十二錢にして人員三百九十六人なり。

右徵收人員三百九十六人中分納申請資格者即ち百圓以上納付すべきもの百六十六人なるも、内官公署分二件を除き差引百六十四人に對し分納申請期限を昭和四年六月二十日とし、同月一日附を以て換地處

換地處分に關する通知書は豫め換地説明書及補償金清算金臺帳に依り之を作成し置き、前項充當處分を爲したる後直に之が送達に著手し、市内居住者に對しては人夫を使用して之を送達し、其の他に對しては書留郵便を以て之を送達せり。

第三 清算金の徴收

本地區に於ける徴收清算金總額は四十一萬二千八百七十一圓七十六錢なりしが、内十八萬七千七百八十圓十四錢に對し土地補償金を以て充當したる結果、各納付義務者より直接徴收すべき清算金は差引二十二萬五千九十一圓六十二錢にして人員三百九十六人なり。

右徴收人員三百九十六人中分納申請資格者即ち百圓以上納付すべきもの百六十六人なるも、内官公署分二件を除き差引百六十四人に對し分納申請期限を昭和四年六月二十日とし、同月一日附を以て換地處分に關する通知書と共に分納申請書用紙を送付し置きたる處、右期限内に申請書を提出したるもの八十八人にして資格者總數に對し約五割四分の申請者ありたるも、尙同年七月二日未提出者七十六人に對し同月十日迄に提出方注意を促せし處、右期日迄に申請したるもの三十一人ありて結局申請者合計百十九人となり資格者總數に對し七割三分となりたり。

依て右申請書を審査の上、昭和四年八月七日分納許可の決定を爲し、同日各申請者に對し許可書を送付せり。

本地區に於ける清算金徴收事務は本所區役所に於て取扱ふものにして、昭和四年七月より之が徴收を開始せり。

第四 清算金の交付

本地區に於ける交付清算金は總額四十一萬二千八百七十一圓七十六錢にして昭和四年六月十二日之が支拂を開始し、同六年三月末日迄に交付せし金額四十一萬二千八百七十一圓七十六錢なり。

第六章 土地補償金

第一 補償金の算定並決定

本地區に於ける宅地減歩率は一割六分二厘五九五一なりしを以て、特別都市計畫法第八條に依り補償金の交付を要する爲、同法第五條の規定に依る補償金の配當割合を定むるに當り、幹線街路及運河敷充當用として國に於て買收したる土地及補助線街路敷充當用として市に於て買收したる土地に對しては該土地の指數相當額とし、其の他の土地に對しては補償金總指數より前記指數を控除したる指數を各整理前權利指數に按分するものとし、之を土地區劃整理委員會に諮問して決定せり。

次で前記配當割合に基き左表其の一に依り計算したる補償總指數を整理前各權利に配當して原案を作成の上、昭和四年四月二十四日補償審査會に提出し、同年五月一日原案の通決定せられ同月二日其の旨通知を受けたり。

而して要交付補償金總額は四十萬五千八百八圓九十錢にして人員千百三十七人なり。

補償金計算調書

(其の一)

| 摘 | 要 | 員 | 數 |
|---------------------|------------|---|---|
| 整理前宅地總面積 | 一五四、五三三坪五八 | | |
| 整理後宅地總面積 | 一二九、四〇七坪一七 | | |
| 潰地總面積 | 二五、一二六坪四一 | | |
| 整理前宅地總面積に對する潰地面積の割合 | 〇・二六二五九五 | | |
| 整理前宅地の一割に相當する面積 | 一五、四五三坪三〇 | | |

| 補償總面積 | 整理前宅地總指數 | 同上平均坪當指數 | 整理前宅地坪當價格 |
|----------|-------------|----------|-----------|
| 九、六七三坪〇六 | 八二、三四七、九〇六個 | 五三三個 | 〇圓一八 |
| | | | 九五圓九四 |

整理前宅地總面積に對する潰地面積の割合
 整理前宅地の一割に相當する面積

一二九、四〇七坪一七
 一五、一二六坪四一
 〇・二六二五九五
 一五、四五三坪三〇

| | | |
|----------|----------|-------------|
| 補償 | 整理前宅地總面積 | 九、六七三坪〇六 |
| 同上平均坪當指 | 指 | 八二、三四七、九〇六個 |
| 整理前宅地總面積 | 坪當指 | 五三三個 |
| 整理前宅地總面積 | 單當指 | 〇圓一八 |
| 補償總額 | 價格 | 九五圓九四 |
| 補償總額 | 指數 | 五、一五五、七四〇個 |
| 補償總額 | 指數 | 九二八、〇三三圓二〇 |

(其の二)

| | | |
|--------------------------------------|------------|-------------|
| 特別都市計畫法施行令 第二十九條該當中指數 相當額配當のもの | 面積 | 六、〇八三坪七五 |
| 整理前指數 | 整理前指數 | 二、七八一、二三五個 |
| 補償指數 | 補償指數 | 二、七八一、二三五個 |
| 補償金額 | 補償金額 | 五〇〇、六二二圓三〇 |
| 差引整理前宅地總指數 | 差引整理前宅地總指數 | 七九、五六六、六七一個 |
| 差引補償總指數 | 差引補償總指數 | 二、三七四、五〇五個 |
| 補償金配當率 (整理前指數千個當) | 補償金配當率 | 二九個八四五九八七 |

第四十八地區 甲 整理地

三三五

| | |
|------------|------------------|
| 九、六七三・〇六 | 面 積 |
| 五、一五五・七四〇 | 金 額 |
| 四、一三〇・六六 | 面 積 |
| 二、一〇一・六四一 | 金 額 |
| 五、五四二・四〇 | 面 積 |
| 二、九四〇・〇九 | 金 額 |
| 一、五四三・五六 | 總 指 數 |
| 八二、三四七・九〇六 | 當 指 數 |
| 五三三 | 有 地 指 數 |
| 六、九三三・九六九 | |

(其の二)

(△印は減を示す)

| 市負擔 | 國負擔 | | 區負擔 | | 種別 | 補積 | 補償 | 施行令第二十九條該當地 | | 差引交付 | | |
|------------|--------------------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 計 | 運河 | 幹線 | 面積 | | | | 指數 | 金額 | | 指數 | 金額 |
| 補助線 | 補助線の 内の電 氣事業 用地 | 計 | 運河 | 幹線 | 面積 | 指數 | 金額 | 指數 | 金額 | 指數 | 金額 | 指數 |
| 四、四六五・四九 | 一、〇七六・九一 | 四、一三〇・六六 | 二、二九四・一四 | 一、八三六・五二 | | | | | | | | |
| 四八、四九・〇八 | 五七三、九九三 | 三九六、二五五・三八 | 二二〇、〇九九・六八 | 一七六、一九五・七〇 | 九七八、八六五 | 二三、五四 | 四、三三四・三三 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 二、三八〇、一〇六 | 一〇三、三三八・七四 | 二、一〇一、六四一 | 一、一三三、七六六 | 一七六、一九五・七〇 | 九七八、八六五 | 二三、五四 | 四、三三四・三三 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 一〇、一九五・四六 | 二、四八二・九二 | 九、五三三・六二 | 五、一八九・三〇 | 四、三三四・三三 | 二三、五四 | 二三、五四 | 四、三三四・三三 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 五七、一九七 | 一三、七九四 | 五、三九三 | 二九、三八五 | 四、三三四・三三 | 二三、五四 | 二三、五四 | 四、三三四・三三 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 五五七、七〇〇 | — | 四〇〇、二六六・三〇 | 一、二六八、一九四 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | 一七、九六二・三六 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 一一〇、三六六・〇〇 | — | 四〇九、七五九・九二 | 一三八、二七四・九二 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | 一七、九六二・三六 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 一一〇、六八一・四六 | 一三、七九四 | 四〇九、七五九・九二 | 一三三、五五四・三三 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | 一七、九六二・三六 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 六二四、八九七 | 二、四八二・九二 | 四〇九、七五九・九二 | 一、二九七、五七九 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | 一七、九六二・三六 | 一七、九六二・三六 | 九七、八八五 | 九七、八八五 | | |
| 一、七六五、一〇九 | 一〇〇、八三五・八二 | △ 一三、四四四・五四 | △ 一三、四四四・五四 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 | 一、七六五、一〇九 |
| 三二七、七七・六二 | 五六〇、一九九 | △ 七四、八〇三 | △ 七四、八〇三 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 | 三二七、七七・六二 |

| 總計 | 計 | |
|-----------|------------|----------|
| | 五、四三、四〇 | 二、九四、〇三三 |
| 九八、〇三三・一〇 | 五二、七三七・八二 | 三、七六八・六 |
| | 三、三三三・〇〇 | 五七、七〇〇 |
| 三、三三三・〇〇 | 二、七六八・六 | 六八、六六一 |
| | 一〇〇、三六六・〇〇 | 二、三三三・〇〇 |
| 五三、三三三・〇〇 | 二、三三三・〇〇 | 二、三三三・〇〇 |
| | 二、三三三・〇〇 | 二、三三三・〇〇 |
| 四〇、一〇一・〇〇 | 四一八、五七三・四 | 二、三三三・〇〇 |
| | 二、三三三・〇〇 | 二、三三三・〇〇 |

第三 各権利者に直接交付すべき補償金

要交付補償金總額は四十萬五千八百八圓九十錢なりしが、内十八萬七千七百八十圓十四錢を徵收清算金に充當したる結果、各権利者に直接交付すべき補償金二十一萬七千三百二十八圓七十六錢(人員七百四十九人)なり。

第四 補償金の交付

本地區に於ける補償金總額四十萬五千八百八圓九十錢中、徵收清算金に充當したる金額十八萬七千七百八十圓十四錢は市會計規程に基き振替手續に依り昭和四年八月十二日支出し、直接交付額二十一萬七千三百二十八圓七十六錢は本所區役所に於て同四年六月十三日之が支拂を開始し、同六年三月末日迄に交付せし金額二十一萬七千二百八十五圓九十二錢にして、交付濟額合計四十三萬四千六百十四圓六十八錢なり。

第七章 登記及地價配賦

第一節 登記

第一 代位登記

なり。

第七章 登記及地價配賦

第一節 登記

第一 代位登記

土地に關し代位登記を爲したる件數は土地表示更正及變更百五十件、土地名義人表示更正及變更十二件、土地分合筆二百八十五件なり。

第二 區劃整理登記

土地囑託筆數は整理前五百六筆、整理後五百八十九筆にして、建物囑託件數は要登記のもの九百二十七件、現存を認め難きもの十三件なり、囑託書を東京區裁判所林町出張所に提出したるは昭和四年六月五日にして、登記の完了は同年七月三十一日なり、而して登記の停止期間は換地處分告示の日即ち昭和四年四月二十五日より約三箇月に亘れり。

第二節 地價配賦

第一 地價配賦前の處理

本地區の土地區劃整理施行申告、工事著手届及工事完了届を兩國橋稅務署長に提出したる年月日左の如し。

| | |
|--------------|------------|
| 一 土地區劃整理施行申告 | 昭和二年九月十二日 |
| 一 工事著手届 | 同 日 |
| 一 工事完了届 | 昭和四年四月二十七日 |

第四十八地區 甲 整地

第二 地價配賦

地價配賦案は昭和四年五月十六日之が作成を了し、同月十八日兩國橋稅務署長に提出し、同年六月五日地價配賦許可の指令を受けたり。

本地區整理前有租地の地價總額は三十五萬八千四百九十圓六十錢にして、整理に依り減少したる有租地面積に對する控除地價額は四萬九千六百五十圓九十六錢なり、之を前述の地價總額三十五萬八千四百九十圓六十錢より控除したる三十萬八千八百三十九圓六十四錢は、即ち整理後有租地に對し配賦せらるべき地價總額とす、而して整理後各筆評定指數千個當配賦地價額は四圓二十錢一七九七なり。地價配賦算定に關する數字を示せば左の如し。

一 整理前後有租地面積

| | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|
| 整理前面積 | 整理後面積 | 差引減步面積 |
| 一三、八七〇・〇六 ^坪 | 一三、六三三・九六 ^坪 | 一九、三三七・一〇 ^坪 |

二 整理前有租地坪當平均地價

| | | |
|------------------------|--------------------------|--------------------|
| 租整理前面積有 | 同上總地價 | 坪當平均地價 |
| 一三、八七〇・〇六 ^坪 | 三、五八、四九〇・六〇 ^円 | 二・五八二 ^円 |

三 控除せらるべき地價

| | | |
|------------------------|--------------------|------------------------|
| 有租地差引減步面積 | 坪當平均地價 | 控除地價 |
| 一九、三三七・一〇 ^坪 | 二・五八一 ^円 | 四九、六五〇・九六 ^円 |

四 整理後評定指數千個當配賦地價額

| | | |
|-------------------------|-------------------------|----------------------|
| 整理後有租地總指數 | 配賦地價額 | 指數千個當配賦地價額 |
| 七三、五〇一、七九九 ^個 | 三〇八、八三九・六四 ^円 | 四・二〇七九七 ^円 |

次に整理前後の土地を有租地、免租地及公共用地の區分に従ひ地目別に掲記すれば左の如し。

整理前後土地面積及筆數調

| 區分地目 | 從前の土地 | | 整理後の土地 | | 面積差引 | | 筆數差引 | |
|------|-------|----|--------|----|------|---|------|---|
| | 臺帳面積 | 筆數 | 實測面積 | 筆數 | 增 | 減 | 增 | 減 |

| | | | | | | | | | | | |
|------|-------------|--------|------------|------|----------------|------|-----------------|-------|-----------------|-------|---------------|
| 減歩面積 | 坪 一九、二七〇 | 坪當平均地價 | 坪 二、五八一 | 控除地價 | 坪 四九、六五〇・九六 | 地總指數 | 調 七三、五〇一、七九九 | 酉賜地價率 | 坪 三〇八、八三九・六四 | 配賦地價額 | 坪 四、二〇七・九七 |
|------|-------------|--------|------------|------|----------------|------|-----------------|-------|-----------------|-------|---------------|

次に整理前後の土地を有租地、免租地及公共用地の區分に従ひ地目別に掲記すれば左の如し。

整理前後土地面積及筆數調

| 區分 | 地目 | 從前の土地 | | 整理後の土地 | | 面積差引 | | 筆數差引 | |
|-------|------------------|-----------------------|-----|-----------------------|----|------|---------------------|------|----|
| | | 臺帳面積 | 筆數 | 實測面積 | 筆數 | 增 | 減 | 增 | 減 |
| 有租地 | 宅地 | 一三三、七六・六 ^坪 | 四〇〇 | 一二九、六三・六 ^坪 | 五六 | | 一七、一三〇 ^坪 | 一八 | 一 |
| | 都市計畫施行令第二條第二項該當地 | 四、一五・〇〇 | 二六 | | | | | | 二六 |
| | 計 | 一三六、八八・六 | 四二六 | 一二九、六三・六 | 五六 | | 一七、一三〇 | 一八 | 一 |
| 民有免租地 | 道路 | 一、四八・五九 | 一 | | | | | | 一 |
| | 墓地 | 一七・〇〇 | 二 | 一五・三〇 | 二 | | 一、〇八・七〇 | | |
| | 計 | 一、五九・五九 | 三 | 一五・三〇 | 二 | | 一、〇八・七〇 | | 一 |
| 市有免租地 | 墓地 | 二、三三・〇〇 | 二〇 | 一、三五・七 | 四 | | 一、〇七・三 | | 六 |
| | 道路 | 四、四一・五七 | 七〇 | | | | 四、四一・五七 | | 七〇 |
| | 河岸地 | 七九・三 | 三 | 六〇・三 | 三 | | 一九・〇 | | |
| | 公共市場 | 一五・〇〇 | 一 | 二五・五 | 一 | | 一〇・五 | | |
| | 都市計畫事業用地 | 一、〇〇・〇〇 | 一 | | | | 一、〇〇・〇〇 | | 一 |
| | 軌道用地 | 二九一・〇〇 | 五 | | | | 二九一・〇〇 | | 五 |
| | 計 | 九、三三・三 | 一〇〇 | 二、二六・五 | 八 | | 七、〇六・八 | | 九二 |

第四十八地區 甲 整地

| 合 計 | 公共用地 | | | | | 國有免租地 | | | | 府有免租地 | 區有免租地 | | | | | |
|---------|---------|-----|----|--------|-------|---------|----------|---------|-------|--------|--------|--------|----|---------|---------|---------|
| | 計 | 物揚場 | 共同 | 溝渠 | 堤塘 | 運河 | 河川 | 道路 | 計 | 雜種地 | 官用地 | 官有地 | 寺地 | 警視廳用地 | 計 | 道路 |
| 一八、三三・六 | 二五、二五・四 | — | — | 三、九四・四 | 二五九・四 | 六、〇五・八 | 一四、九五・七 | 一三、〇三・八 | 五五・〇〇 | 八八二・〇〇 | 七、七三・四 | 四、四〇・六 | — | 二、一五・〇〇 | 二、四〇・〇〇 | 二、〇九・〇〇 |
| 五三 | — | — | — | — | — | — | — | 七 | 一 | — | 二 | 九 | 四 | 三 | 二 | 二〇 |
| 一八、七〇・八 | 六、一八・四 | — | — | — | 二六・二 | 九、九三・八 | 五、〇〇二・四〇 | 五、二八・三 | — | 一六二・八〇 | 一、〇八・〇 | 四、四九・四 | — | 一、九九・四 | — | 一、九九・四 |
| 六五 | — | — | — | — | — | — | — | 六 | — | — | 八 | 七 | — | 二 | — | 二 |
| 四〇、二三・六 | 四〇、二九・九 | — | — | — | — | 三、八四・三〇 | 三、〇六・六 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 三八、〇四・五 | 四、一五・〇 | — | — | — | — | — | — | 七、七五・五 | 三五・〇〇 | 七〇・二〇 | 六、六四・三 | 三六・九 | — | 一、九三・五 | 二、四〇・〇〇 | 六九・五 |
| 一四 | — | — | — | — | — | — | — | 八 | — | — | — | 八 | — | — | — | — |
| 一六 | — | — | — | — | — | — | — | 九 | — | — | — | — | — | 二〇 | 二 | 一八 |

乙 建物其他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

第一節 建物狀況

| | | | | | | | | | |
|---|---|---------|----|---------|----|---------|---------|----|----|
| 合 | 計 | 一八、三三・六 | 五二 | 一六、七〇・八 | 六五 | 四〇、一三・三 | 三八、〇四・五 | 一四 | 一六 |
| 計 | 計 | 二五、二五・四 | 一 | 六、一〇・四 | 一 | 四〇、二九・二 | 四、一五・〇 | 一 | 一 |

乙 建物其の他の工作物移轉

第一章 整理前の建物

第一節 建物狀況

本地區整理前の宅地總面積は十五萬四千五百三十三坪五合八勺にして、之に所在する建物の總棟數は四千三百九十四棟此の延坪數七萬五千二百九坪六勺なり、而して建物一棟當り宅地面積は三十五坪一合七勺、同建物延坪數は十七坪一合二勺なり。

前記總棟數の内移轉を要するもの四千百十一棟にして、爾餘の二百八十三棟は換地の關係に依り其の儘据置き得る不要移轉建物なり、之を構造別に示せば左の如し。

| 種別 | 建物總數 | | 内 | | 譯 | |
|-------|-------|-----------|-------------|-----------|--------------|----------|
| | 棟數 | 延坪數 | 要移轉建物 棟數 | 延坪數 | 不要移轉建物 棟數 | 延坪數 |
| 木造建物 | 四、三〇〇 | 六八、二七四・七三 | 四、〇六一 | 六一、二九八・六七 | 二三九 | 六、九七五・六六 |
| 石造家建 | 七 | 三三・九六 | 四 | 一三・八二 | 三 | 一〇〇・二六 |
| 同階建 | 二 | 二五・〇四 | 一 | 八・八〇 | 一 | 一六・二四 |
| 煉瓦造家建 | 四三 | 二、二九二・九四 | 一七 | 四五六・〇六 | 二五 | 一、八四八・八八 |
| 同階建 | 八 | 五〇七・三五 | 四 | 一〇四・三七 | 四 | 四〇二・九八 |

第四十八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

第四十八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

| 煉瓦造三階建 | 鐵骨造平家建 | 同 二階建 | 鐵筋コンクリート造二階建 | 同 四階建 | 計 | 建物總棟數に對する百分比 |
|--------|---------|--------|--------------|--------|-----------|--------------|
| 一 | 二元 | 三 | 一 | 一 | 四、三四 | 一〇〇・〇〇 |
| 一五・〇〇 | 二、九六・三三 | 五六・九九 | 七・五〇 | 一七五・四〇 | 七五、一〇九・〇六 | 一〇〇・〇〇 |
| 一 | 三 | 一 | 一 | 一 | 四、一一 | 九三・五 |
| 一五・〇〇 | 七七・九一 | 一〇三・〇五 | 一 | 一七五・四〇 | 三、三四・三八 | 八三・九三 |
| 一 | 八 | 二 | 一 | 一 | 二八三 | 六・四五 |
| 一 | 二、八八・四三 | 三九・七四 | 七・五〇 | 一 | 三、〇〇四・六 | 一六・〇七 |

三三四

要移轉建物四千百十一棟の用途を大別すれば住宅二千三十九棟の四割九分を最高とし、商店九百十一棟の二割二分之に次ぎ、以下小工場、工場、倉庫等の順位なり、之を表示すれば左の如し。

| 種別 | 要移轉 | | 建物 | |
|-----|-----|---------------|--------|--------|
| | 棟數 | 要移轉總棟數に對する百分比 | 延坪數 | 一棟平均坪數 |
| 官署 | 八 | 〇・一九 | 一、六・七五 | 一四・五九 |
| 圖書館 | 一 | 〇・〇二 | 五・五〇 | 五・五〇 |
| 學校 | 五 | 〇・二二 | 四一・六二 | 五八・三二 |
| 託兒所 | 一 | 〇・〇二 | 九・〇〇 | 九・〇〇 |
| 神社 | 三 | 〇・〇七 | 一四・八二 | 四・九四 |
| 寺院 | 二 | 〇・〇五 | 三・七五 | 一八・三七 |

| 敎會堂 | 病院 | 醫務所 | 銀行 | 事務所 |
|-------|--------|--------|-------|----------|
| 四 | 一 | 二 | 一 | 三 |
| 〇・一〇 | 〇・〇二 | 〇・一七 | 〇・〇二 | 一・九 |
| 八七・〇四 | 一九八・二九 | 二八三・二四 | 四八・五四 | 一、二〇七・一八 |
| 二・七六 | 一九・二九 | 二五・七四 | 四八・五四 | 一四・七三 |

第四十八地區 乙 建物其他の工作物移轉

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|----------|--------|--------|----------|----------|-------|--------|--------|-------|
| 運 | 理 | 浴 | 質 | 武 | 娛 | 席 | 觀 | 飲 | 料 | 商 | 寄 | 下 | 住 | 事 | 銀 | 醫 | 病 | 教 |
| | 髮 | | | 術 | | | | | | | | | | | | | | |
| 送 | 理 | | | 道 | 樂 | | 物 | 食 | 理 | | 宿 | 宿 | | 務 | | | | 會 |
| 業 | 店 | 場 | 屋 | 場 | 場 | 亭 | 場 | 店 | 店 | 店 | 舍 | 業 | 宅 | 所 | 行 | 院 | 院 | 堂 |
| 一五 | 四七 | 二六 | 四 | 二 | 二 | 一 | 一 | 八 | 二 | 九二 | 二〇 | 二 | 二、〇元 | 八 | 一 | 二 | 一 | 四 |
| 〇・七 | 一・四 | 〇・九 | 〇・一〇 | 〇・〇五 | 〇・〇五 | 〇・〇二 | 〇・〇二 | 一・七 | 〇・〇五 | 三・一六 | 〇・四九 | 〇・二六 | 四九・六〇 | 一・九 | 〇・〇二 | 〇・二七 | 〇・〇二 | 〇・一〇 |
| 一八九・三〇 | 七五・八七 | 八二・五六 | 四六・五五 | 四八・九〇 | 三三・八〇 | 六〇・七五 | 一六・五〇 | 一、三〇五・九四 | 五九・三二 | 二、八三六・三六 | 五四九・一四 | 二六六・四九 | 二六、四〇・五二 | 一、二〇七・一八 | 四八・五四 | 二六三・二四 | 一九八・二九 | 八七・〇四 |
| 二・六二 | 一五・四 | 二六・九四 | 一一・六 | 二四・四五 | 一一・四〇 | 六〇・七五 | 一六・五〇 | 一六・二二 | 二九・五 | 三・九 | 二六・四 | 二六・〇四 | 三・九六 | 一四・七二 | 四八・五四 | 二五・七四 | 一九・二九 | 二・七六 |

三三五

| | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 寺 | 神 | 託 | 學 |
| | | | 兒 |
| | | | 校 |
| | | | |
| 二 | 三 | 一 | 五 |
| 〇・五 | 〇・七 | 〇・〇二 | 〇・二 |
| 三六・七五 | 一四・八二 | 九〇・〇〇 | 五、四一・三二 |
| 一八・三七 | 四・九四 | 九〇・〇〇 | 五・三二 |

第四十八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

| | | | | |
|---------|------|--------|---------|-------|
| 工 場 | 三二 | 五・六 | 七、二七・四七 | 三〇・〇四 |
| 小 工 場 | 四七 | 一〇・八 | 七、六七・三三 | 一七・〇四 |
| 倉 庫 | 二四 | 二・七 | 二、七九・二〇 | 二四・二九 |
| 自 動 車 庫 | 五 | 〇・三 | 一七・三三 | 三〇・〇六 |
| 其 他 | 五〇 | 一・三 | 三三・三〇 | 六・五〇 |
| 計 | 四、一一 | 一〇〇・〇〇 | 三、二四・六八 | 一五・三五 |

三三六

第二節 地區告示後の建築

大正十三年三月二十七日東京都市計畫土地區劃整理施行地區の告示後に於て假設建築物として新築、改築、増築等の爲東京府知事に許可申請を爲したるもの建物千五百八十五棟、工作物八件、内許可せられたるもの建物千百三十九棟、工作物三件、許可せられざりしもの建物四百四十六棟、工作物五件なり、而して前記の如く不許可の指令を受けたるにも拘らず新築、改築、増築等を爲し事業施行の必要上移轉を要したるもの建物三百一棟、工作物三件なり。

第二章 移轉計畫

本地區は之を百二十二箇の移轉群に分ち、大正十五年五月より建物及工作物の現状調査に著手し、調

査済の移轉群より逐次移轉工法並工程を定め昭和三年五月全部の移轉計畫を終了せり。

而して要移轉建物四千百十一棟に對する移轉工法を見るに曳方一部除却に依るもの二千五棟にして四割八分を占め、之に次ぐは曳方の千二百六十棟にして三割に相當し、他は移築一部除却、移築、据置一部除却、曳方一部移築一部除却の順位なり、之を構造別に示せば左の如し。

| | | | |
|-----|-----|-------|---|
| 種 別 | 工 法 | 別 棟 數 | 十 |
|-----|-----|-------|---|

第二章 移轉計畫

本地區は之を百二十二箇の移轉群に分ち、大正十五年五月より建物及工作物の現状調査に着手し、調

査済の移轉群より逐次移轉工法並工程を定め昭和三年五月全部の移轉計畫を終了せり。

而して要移轉建物四千百十一棟に對する移轉工法を見るに曳方一部除却に依るもの二千五棟にして四割八分を占め、之に次ぐは曳方の千二百六十棟にして三割に相當し、他は移築一部除却、移築、据置一部除却、曳方一部移築一部除却の順位なり、之を構造別に示せば左の如し。

| 種別 | 工法別棟數 | | | | 計 |
|---------------|-------|--------|------------|--------|-------|
| | 曳方 | 曳方一部除却 | 曳方一部移築一部除却 | 移築一部除却 | |
| 木造建物 | 一、四〇〇 | 一、九六六 | 一 | 三〇六 | 四、〇七一 |
| 石造平家建 | 一 | 一 | 一 | 四 | 四 |
| 同 二階建 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 煉瓦造平家建 | 八 | 一 | 一 | 五 | 一七 |
| 同 二階建 | 三 | 一 | 一 | 一 | 四 |
| 同 三階建 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 鐵骨造平家建 | 七 | 八 | 一 | 四 | 三 |
| 同 二階建 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 鐵筋コンクリート造四階建 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 |
| 計 | 一、二四〇 | 二、〇〇五 | 一 | 三、二四六 | 四、一三三 |
| 要移轉總棟數に對する百分比 | 三〇・七 | 四八・七 | 〇・三 | 七・六 | 一〇・九 |
| | | | | | 一・八 |
| | | | | | 一〇〇・〇 |

前記計畫に依るときは要移轉建物四千百十一棟此の延坪數六萬三千百二十四坪二合八勺は、整理後に

第四十八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

於て其の棟數に増減なきも坪數に於ては一割四分四厘の縮少を來たし、五萬三千九百七十八坪六合五勺となる、之を建物の構造別に對照すれば左の如し。

| 種別 | 整理前建物 | | 整理後建物 | | 差引 | |
|--------------|-------|-----------|-------|-----------|----|----------|
| | 棟數 | 延坪數 | 棟數 | 延坪數 | 棟數 | 延坪數 |
| 木造建物 | 四、〇六一 | 六二、二九八・七坪 | 四、〇六一 | 五二、三七八・九坪 | — | 八、九八〇・九坪 |
| 石造平家建 | 四 | 一三三・八二 | 四 | 一三三・八二 | — | — |
| 同 二階建 | 一 | 八・八〇 | 一 | 八・八〇 | — | — |
| 煉瓦造平家建 | 一七 | 四六・〇六 | 一七 | 四六・七三 | — | 三・三三 |
| 同 二階建 | 四 | 一〇四・七五 | 四 | 九三・二二 | — | 一一・五三 |
| 同 三階建 | 一 | 一五・〇〇 | 一 | 一五・〇〇 | — | — |
| 鐵骨造平家建 | 三 | 七七・九一 | 三 | 六五・八四 | — | 一一・〇七 |
| 同 二階建 | 一 | 一〇三・〇五 | 一 | 一〇三・〇五 | — | — |
| 鐵筋コンクリート造四階建 | 一 | 一七五・四〇 | 一 | 一七五・四〇 | — | — |
| 計 | 四、二二一 | 六三、二四一・六坪 | 四、二二一 | 五三、九八・五坪 | — | 九、二五三・一坪 |

要移轉建物四千百一十一棟中第六十七移轉群に屬する九棟は補助線第五號街路工事の急施を要したる爲之を一般計畫より分離し、大正十五年九月及十月中に工事を実施することとし、爾餘の四千百二棟は昭和二年三月より同四年二月迄の二年を實施期間とし、昭和二年に於て千二百六十九棟、昭和三年に於て二千八百十九棟、昭和四年に於ては二月迄に十四棟の工事を完了することに豫定したり。

第三章 移轉手續

第一節 移轉命令

補助線第五號街路工事の急施を要したる爲、大正十五年五月三十一日第一次移轉命令として柳島梅森

要移轉建物四千百十一棟中第六十七移轉群に屬する九棟は補助線第五號街路工事の急施を要したる爲之を一般計畫より分離し、大正十五年九月及十月中に工事を実施することとし、爾餘の四千百二棟は昭和二年三月より同四年二月迄の二年を實施期間とし、昭和二年に於て千二百六十九棟、昭和三年に於て二千八百十九棟、昭和四年に於ては二月迄に十四棟の工事を完了することに豫定したり。

第三章 移轉手續

第一節 移轉命令

補助線第五號街路工事の急施を要したる爲、大正十五年五月三十一日第一次移轉命令として柳島梅森町の一部第六十七移轉群の建物九棟に對し移轉命令七通、同通知二通を發したり、而して一般計畫の建物に對する移轉命令は同年十一月に至り之が發令を開始し爾來引續き發令に努め、昭和三年三月柳島梅森町の一部第八十八移轉群の發令を最後とし、要移轉建物四千百十一棟の内、協議並直轄移轉に依る八十四棟を除きたる四千二十七棟及其の他の工作物に對し移轉命令三千八百六十四通、同通知三千六百四十三通を發し茲に全部の發令を終へたり。

第二節 協議並直轄移轉

第一 協議移轉

本地區に於て協議移轉を爲したるもの建物八十三棟、工作物二十一件あり、内建物十三棟、工作物一件は官公署の所有にして事業實施の便宜上協議移轉を爲したるもの、其の他の建物七十棟、工作物二十件は民有にして、内建物五十二棟は東京市太平尋常小學校並同柳島尋常小學校々舎新築の爲急速移轉を要したるもの、他の建物十八棟及工作物二十件は移轉促進の爲特に急施を要したるものなり。

右の外一旦移轉を了したる建物にして其の敷地が橋臺地地揚に伴ひ宅地造成を要したる爲更に本手續に依り二重移轉を爲したるもの十棟あり、之を橋梁別に示せば左の如し。

栗原橋

二棟

天神橋

六棟

紅葉橋

二棟

第四十八地區

乙

建物其の他の工作物移轉

三三九

第二 直轄移轉

本地區に於て直轄移轉を爲したるもの建物一棟、工作物二件あり、内建物は本市保健局所管の共同便所にして其の希望に依り直轄施行を爲したるもの、其の他工作物二件は民有にして何れも借地權なき建物の移轉を阻止する目的を以て借地權者が其の換地に掛小屋又は板塀を設置したる爲之が撤去方を交渉せるも應ぜざりしに因るものなり。

第四章 損害補償

第一節 補償金の決定

移轉命令の發令に次で移轉損害補償金の算定に著手せり、即ち早期移轉を要したる第六十七移轉群の一部は大正十五年七月に、其の他の一般計畫に係る移轉群は昭和二年二月より建物及工作物の新築費並動産の種類、數量及營業休止に因る損害等の現地調査に著手、其の調査に基き移轉損害補償金の算定を爲し、第六十七移轉群は大正十五年八月に、其の他の一般計畫に係る各移轉群は昭和二年三月以降逐次補償審査會の審議決定を経たり、而して前記現地調査は同三年九月迄に終了し又補償審査會に於ける補償金の決定も回を重ねること五十七回(變更案の決定を含む)にして同三年十月一先終了したるが、其の後に至り既決補償金の變更を要するものあり、之が審議決定を爲すこと十三回に及び同四年九月全部の決定を了せり尙補償審査會の決定を要せざるものに付ては調査算定すると共に關係者と協定する等夫々處理を了したり。

補償審査會に於て決定したる補償金及其の他の移轉料總額は左表の如く二百二萬七千八百八十一圓六十三錢にして、内國負擔額六萬三千四百五十二圓四十三錢、市負擔額百九十六萬三千七百二十九圓二十錢なり。

| 種別 | 建物 | 延坪數 | 補償金 | 内 | 譯 |
|----|----|-----|-----|---|---|
| 棟數 | | | | | |

補償金の決定も回を重ねること五十七回(變更案の決定を含む)にして同三年十月一先終了したるが、其の後に至り既決補償金の變更を要するものあり、之が審議決定を爲すこと十三回に及び同四年九月全部の決定を了せり尙補償審査會の決定を要せざるものに付ては調査算定すると共に關係者と協定する等夫々處理を了したり。

補償審査會に於て決定したる補償金及其の他の移轉料總額は左表の如く二百二萬七千八百八十一圓六十三錢にして、内國負擔額六萬三千四百五十二圓四十三錢、市負擔額百九十六萬三千七百二十九圓二十錢なり。

| 種別 | 棟數 | 延坪數 | 補償金 | 區分 | | 坪當 |
|---------------|------|----------|-------------|---------|-------------|-------|
| | | | | 内 | 外 | |
| 一般移轉 | 四、二二 | 六三、二四・六坪 | 二、〇三、五〇七・九〇 | 建物移轉料 | 一、二五、四六六・六〇 | 一八・三五 |
| | | | | 工作物移轉料 | 二六九、六七・六 | 四・二七 |
| | | | | 造作移轉料 | 四八、七〇・九七 | 〇・七七 |
| | | | | 動産移轉料 | 二五、八九五・五 | 二・四 |
| | | | | 休業補償 | 二五、八一・二七 | 三・七四 |
| | | | | 雜費 | 一五、〇五・九一 | 二・四七 |
| 計 | | | 二、〇三、五〇七・九〇 | | 三・四〇 | |
| 橋臺地々揚に依る一一重移轉 | 一〇 | 一、六四・〇五 | 四、六七三・七三 | 建物移轉料其他 | 四、六七三・七三 | 一七・七〇 |
| 合計 | 四、三三 | 六三、三八・三三 | 二、〇七、一八一・三三 | | 二、〇七、一八一・三三 | 三・九八 |

因に前表建物及工作物移轉料算定の基準となりたる新築費を示せば左の如し。

| 種別 | 棟數 | 延坪數 | 一棟當延坪數 | 新築費 | 坪當單價 |
|--------------|-------|-----------------------|--------------------|-------------------------|-------------------|
| 木造建物 | 四、〇六一 | 六、二九八・八七 ^坪 | 一五・〇九 ^坪 | 三、四五一、五三・九 ^円 | 五・〇四 ^円 |
| 石造平家建 | 四 | 一三三・八二 | 三三・四〇 | 一三、七八・二六 | 一〇三・六 |
| 同二階建 | 一 | 八・八〇 | 八・八〇 | 一、六三・四 | 一八・三〇 |
| 煉瓦造平家建 | 一七 | 四五八・〇六 | 二六・九四 | 六、四三・三三 | 一四九・四一 |
| 同二階建 | 四 | 一〇四・七 | 二六・〇九 | 一七、九三・七五 | 一七・七〇 |
| 同三階建 | 一 | 一五・〇〇 | 一五・〇〇 | 五、九五・〇〇 | 三九・〇〇 |
| 鐵骨造平家建 | 三 | 七七・九 | 二六・六 | 四、一七・八八 | 五・九五 |
| 同二階建 | 一 | 一〇三・五 | 一〇三・五 | 一三、六〇・二〇 | 一六・六七 |
| 鐵筋コンクリート造四階建 | 一 | 一七五・四〇 | 一七五・四〇 | 三六、六三・六〇 | 二〇・一四 |
| 工作物 | 一 | 一 | 一 | 一、四九七、六九・八六 | 一三・七三 |
| 計 | 四、二二 | 六、二三四・八 | 一五・三五 | 五、一四五、四七・三三 | 八・五 |

備考 工作物の坪當單價は其の新築費を建物總延坪數にて除したるものなり。

第二節 補償金の決定通知と其の交付

移轉損害補償金の決定通知は第六十七移轉群に係るものを大正十五年八月、其の他の移轉群に係るものは昭和二年三月之を開始し、爾來決定の都度之が通知をなし同三年九月を以て一先終了せるも、其の後に至り補償金の一部に變更を來したるものあり之が變更通知は同四年九月に及びたり。

補償審査會に於て決定したる補償金及協議其の他の方法に依りたる移轉料は大正十五年九月より之が交付を開始し、昭和六年三月末日迄に交付せし金額二百二萬五千二百十七圓八十八錢にして、内國負擔額六萬三千四百五十二圓四十三錢、市負擔額百九十六萬千七百六十五圓四十五錢なり。

第二節 補償金の決定通知と其の交付

移轉損害補償金の決定通知は第六十七移轉群に係るものを大正十五年八月、其の他の移轉群に係るものは昭和二年三月之を開始し、爾來決定の都度之が通知をなし同三年九月を以て一先終了せるも、其の後に至り補償金の一部に變更を來したるものあり之が變更通知は同四年九月に及びたり。

補償審査會に於て決定したる補償金及協議其の他の方法に依りたる移轉料は大正十五年九月より之が交付を開始し、昭和六年三月末日迄に交付せし金額二百二萬五千二百七十七圓八十八錢にして、内國負擔額六萬三千四百五十二圓四十三錢、市負擔額百九十六萬千七百六十五圓四十五錢なり。

第五章 移轉實施

第一節 實施狀況

移轉工事は別表に示すが如く補助線第五號街路工事の急施に伴ふ第六十七移轉群の建物九棟は大正十五年十月迄に、其の他の建物四千二百二棟は昭和二年三月より同四年二月迄に之を完了する豫定なりし處前記特別扱を爲したる第六十七移轉群の建物九棟は豫定に遅ること二箇月にして大正十五年十二月迄に完了し、其の他の建物四千二百二棟は昭和二年に於ては豫定より遅れたるも、同三年及四年に於ては工程順調に進捗したるを以て最終工期たる同四年二月迄に四千六百六棟の工事を完了し、殘餘の五棟は同年三月迄に、建物以外の工作物も亦同時期迄に移轉を完了したり、之を移轉手續別に分類するときは命令に依りたるもの四千二十七棟代執行を爲したるもの二十二棟を含む協議に依りたるもの八十三棟、直轄工事に依りたるもの一棟なり。

移轉實施月別棟數表
(本表棟數は協議移轉及直轄移轉のものを含む)

| 年 | 月 | 移轉命令 | | 補償金決定 | | 工事完了豫定 | | 工事完了 | |
|---------------|-----|------|----|-------|----|--------|----|------|----|
| | | 月別 | 累計 | 月別 | 累計 | 月別 | 累計 | 月別 | 累計 |
| 大正十五年 昭和元年 | 五月 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 八月 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 九月 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 十一月 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 十二月 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| 昭和二年 | 一月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 二月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 三月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 四月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 五月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 六月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 七月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 八月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 九月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 十月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 十一月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 十二月 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 | 三 |

| 年 | 月 | 移轉命令 | 補償金決定 | 工事完了豫定 | 工事完了 |
|---------------|-----|------|-------|--------|------|
| 大正十五年 昭和元年 | 五月 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 八月 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 九月 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 十一月 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| | 十二月 | 九 | 九 | 九 | 九 |
| 昭和二年 | 一月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 二月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 三月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 四月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 五月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 六月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 七月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 八月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 九月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 十月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 十一月 | 三 | 三 | 三 | 三 |
| | 十二月 | 三 | 三 | 三 | 三 |

第四十八地區 乙 建物其の他の工作物移轉

| 昭和四年 | | | 昭和三年 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 三月 | 二月 | 一月 | 十二月 | 十一月 | 十月 | 九月 | 八月 | 七月 | 六月 | 五月 | 四月 | 三月 | 二月 | 一月 | 十二月 | 十一月 | 十月 |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 4 | 2 | 3 | 9 | 5 | 2 | 2 | 4 | 67 | | | |
| 1 | 1 | 1 | 4,111 | 4,099 | 4,099 | 4,088 | 4,105 | 4,101 | 4,099 | 4,068 | 4,059 | 4,044 | 4,042 | 4,040 | 4,036 | 4,036 | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 5 | 7 | 7 | 1,767 | 55 | 330 | 100 | 5 | 1 | 7 | 2 | 2 | |
| 1 | 1 | 1 | 4,111 | 4,109 | 4,107 | 4,102 | 4,104 | 4,007 | 2,240 | 1,735 | 1,455 | 1,355 | 1,299 | 1,278 | 1,274 | 1,271 | |
| 1 | 2 | 2 | 6 | 2 | 2 | 4 | 5 | 5 | 4 | 1 | 2 | 2 | 2 | 6 | 6 | 2 | |
| 1 | 4,111 | 4,109 | 4,097 | 4,011 | 3,899 | 3,776 | 3,565 | 3,148 | 2,572 | 2,044 | 1,545 | 1,409 | 1,355 | 1,269 | 1,251 | 1,191 | |
| 5 | 6 | 7 | 16 | 10 | 4 | 5 | 8 | 3 | 1 | 7 | 2 | 3 | 5 | 3 | 2 | 1 | |
| 4,111 | 4,106 | 4,010 | 3,936 | 3,776 | 3,475 | 2,980 | 2,492 | 1,666 | 1,272 | 1,125 | 1,016 | 888 | 795 | 658 | 583 | 461 | 333 |

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 九 | 八 | 七 | 六 |
| 月 | 月 | 月 | 月 |
| 1,339 | 623 | 244 | 6 |
| 3,360 | 2,122 | 1,508 | 1,264 |
| 15 | 4 | 3 | 3 |
| 1,262 | 1,003 | 99 | 636 |
| 24 | 25 | 33 | 18 |
| 966 | 742 | 57 | 294 |
| 9 | 6 | 1 | 7 |
| 182 | 103 | 34 | 18 |

第二節 代執行

移轉命令を受け指定期限を経過し現場係員より工事實施方に付屢次誘導督勵を爲すも容易に其の義務を果さざる爲、戒告を爲したる人員八百六十一人、建物千百五十八棟ありたり。

前記の内戒告後も尙其の義務を履行せざる爲代執行を爲したる人員十七人、建物二十二棟あり、其の主なる原因は借地權に關する係争の爲自ら移轉すること困難なりしもの七人七棟、占有者立退かざる爲移轉すること困難なりしもの六人九棟、全く義務者の怠慢に依るもの二人四棟、補償金の決定に不服を申立て工事を遅延せるもの二人二棟なり。

第三節 臨時收容家屋

移轉工事開始に伴ひ臨時收容家屋の必要に迫られたるを以て、昭和二年五月太平町二丁目二十八番に移動式住宅二十二棟同物置四棟を設置し同月より希望者に使用せしめたり。

然るに昭和三年に入り其の敷地は繼續使用を許されざるに至りたるを以て同年六月之を撤去し、其の補充として同月柳島町十九番に住宅三十四棟物置七棟を設置し移轉工事終了迄其の用に供したり、之が棟數及收容世帶數等を示せば左の如し。

| 設置場所 | 棟數 | | 設置撤去 | | 期 | 住宅物置 | 住 | 容 | | | | | |
|---------------|----|----|-------|-------|--------------|------|---|---|------|-------|-------|-----|------|
| | 住宅 | 物置 | 年 月 | 年 月 | | | | 間 | 世帶數 | 一棟當人員 | 住宅物置 | 世帶數 | |
| 本所區太平町二丁目二十八番 | 三 | 四 | 昭和二、五 | 昭和三、六 | 自昭和二、五至昭和四、三 | 同 | 上 | 九 | 四・五〇 | 五五 | 二五・〇〇 | 二 | 五・二五 |

| 同地 | 柳島町十 | 計 |
|-------|-------|--------------|
| 三 | 三 | 六 |
| 七 | 二 | 九 |
| 昭和三、六 | 昭和四、三 | 自昭和三、六至昭和四、三 |
| 同 | 上 | 同 |
| 三 | 三 | 六 |
| 一・八五 | 一・八五 | 三・七〇 |
| 三三 | 三三 | 六六 |
| 九・五〇 | 九・五〇 | 一九・〇〇 |
| 一〇 | 一〇 | 二〇 |
| 一・四二 | 一・四二 | 二・八四 |

| 設置場所 | 住宅物置 | 年月 | 年月 | 住宅物置 | 期間 | 住 | 世帯數 | 一棟當 世帯數 | 人員 | 一棟當 人員數 | 世帯 | 一棟當 世帯數 |
|---------------|------|-----------|-----------|--------------------|----|----|------|------------|------|------------|-----|------------|
| | | | | | | | | | | | | |
| 本所區太平町二丁目二十八番 | 三 | 昭和二、五、三、六 | 昭和二、五、三、六 | 自昭和二、五、三、六至昭和四、三、六 | 上 | 九九 | 四・五〇 | 五五 | 二五・〇 | 三 | 五・五 | |

| 同地 | 計 |
|--------------|--------------|
| 柳島町十 | 計 |
| 三 | 三 |
| 七 | 七 |
| 昭和三、六 | 昭和三、六 |
| 昭和四、三 | 昭和四、三 |
| 自昭和三、六至昭和四、三 | 自昭和三、六至昭和四、三 |
| 同 | 同 |
| 上 | 上 |
| 三 | 三 |
| 一・八五 | 一・八五 |
| 三三 | 三三 |
| 九・五〇 | 九・五〇 |
| 一〇 | 一〇 |
| 一・四二 | 一・四二 |

第四節 宅地造成

本地区は一般に低濕地にして従前に比し低地を換地として指定せられたるもの多かりし爲工事件數九十二件三百九箇所に及び、而して工事種別は盛土工最も多く八十五件二百九十三箇所、其の他は土留工五件五箇所全部板柵工假下水二件十一箇所にして、土留工は大横川河岸の護岸修築工事等なり。

工事著手は昭和二年六月柳島町百十番の盛土工を最初としそれより順次各種工事を施行せり、爾來工事は逐次進捗し同四年三月太平町一丁目百二十番ノ一の盛土工を最後とし九十二件の工事を完了したり之に因る宅地造成完了總面積は一萬二百三坪六合一勺なり。

前記の外栗原橋、天神橋、紅葉橋の橋臺地々揚に因る宅地造成工事四件七箇所あり、其の工事種別は土留工一件一箇所、盛土工三件六箇所にして昭和四年五月より同五年三月に至る間に橋梁工事の進捗に伴ひ工事を施行したり、之に因る宅地造成完了總面積は三百十八坪一勺なり。

以上の工事狀況を表示すれば左の如し。

| 工事種別 | 工事 | | 數量 | 金額 | 直 | | 營 | 請 | | 譯 | |
|------|----|----|-----------------------|-----------|----|----|----------|----|----|-----------------------|-----------|
| | 件數 | 箇所 | | | 件數 | 箇所 | | 件數 | 箇所 | 數量 | 金額 |
| 假下水 | 二 | 二 | 五 ^間 ・〇〇 | 二五・八九 | — | — | — | 二 | 二 | 五 ^間 ・〇〇 | 二五・八九 |
| 土留工 | 五 | 五 | 六〇 ^{面坪} ・四六 | 九八・八一 | — | — | — | 五 | 五 | 六〇 ^{面坪} ・四六 | 九八・八一 |
| 盛土工 | 五 | 五 | 二、三三・六三 ^{立坪} | 二六、九五〇・八四 | 四 | 四 | 四、二〇〇・三三 | 四 | 二 | 二、三三・六三 ^{立坪} | 二四、七五〇・五三 |
| 計 | 二 | 二 | — | 三〇、一八九・四 | 四 | 四 | 四、二〇〇・三三 | 四 | 二 | — | 三五、九八・三三 |

橋臺地々揚に因る宅地造成工事狀況

| 工事種別 | 工事 | | 數量 | 金額 | 直 | | 營 | 請 | | 譯 | |
|------|----|----|----------------------|---------|----|----|-------|----|----|----------------------|---------|
| | 件數 | 箇所 | | | 件數 | 箇所 | | 件數 | 箇所 | 數量 | 金額 |
| 土留工 | 一 | 一 | 三〇・〇一 ^{面坪} | 四四・三六 | — | — | — | 一 | 一 | 三〇・〇一 ^{面坪} | 四四・三六 |
| 盛土工 | 三 | 三 | 一三八・〇三 ^{立坪} | 二、八七・二九 | 一 | 一 | 一四・二〇 | 二 | 一 | 一三八・〇三 ^{立坪} | 二、七七・〇九 |
| 計 | 四 | 四 | — | 三、三二・六五 | 一 | 一 | 一四・二〇 | 三 | 二 | — | 三、二一・四五 |

第六章 墳墓移轉

本地區に於て整理を要したる墓地は本市所有元寺院境内共葬墓地二十三筆、私有墓地一筆合計二十四筆にして此の總面積三千六百八十七坪八合、之に所在する墓碑四千四百三十九基なり。

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|-------|---|-------|---|-------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 永隆寺 | 一五 | 四〇二 | 同 | 二、二、七 | 同 | 三、四、〇 | 一、七八・一四 | 三、七〇・八 | 二、三三・五七 | 二、三三・五七 | 二、三五九・九 | 一、四・八四 |
| 法恩寺 | 六五 | 三、四八 | 同 | | 同 | 三、四、〇 | 八、七五・三 | 六、〇三・八五 | 一、二三八・四五 | 一、二三八・四五 | 一、六一九・六二 | 一、四・二六 |
| 陽運院 | 三三 | 八六 | 同 | 二、三、二 | 同 | | 一、五九・三 | 二、七〇・四七 | 二、六六・〇八 | 二、二五・九三 | 二、一五・九三 | 二、七・七九 |
| 法泉院 | 五 | 四〇五 | 同 | | 同 | | 八、八三・三 | 四、九三・六七 | 二、四七・三〇 | 二、四七・三〇 | 一、六四・一九 | 二、七・五三 |
| 千榮院 | 四 | 二四二 | 同 | | 同 | | 六、七・五四 | 八・八五 | 一、八六・九 | 一、八六・九 | 九、三・三〇 | 一、九・三 |
| 善行院 | 一六 | 六九 | 同 | 二、三、七 | 同 | | 二、一七・二四 | 一、五七・二五 | 二、二八・八九 | 二、二八・八九 | 二、六六・一八 | 一、五・七六 |
| 本法寺 | 一八一 | 一、〇五 | 同 | | 同 | 三、七、三 | 二、三三・三六 | 四、一・五七 | 三、〇二・五 | 三、〇二・五 | 三、〇三・二〇 | 一、六・七四 |
| 計 | 二、四五一 | 二、二八六 | | | | | 二、九、四六・四 | 一〇、七五八・三 | 四、四三・〇一 | 四、四三・〇一 | 四、六、七三 | 一、八・四 |

墳墓の移轉は昭和三年七月迄に完了する豫定なりしが、其の實施に當り降雨多かりし爲浸水せるもの多く遺骨發掘に困難したるも、各管理者に於て契約期間内に移轉すべく努めたる結果、本法寺以外の墓地は何れも豫定の如く工事を完了したり。

尙本法寺墓地は豫定期間中に大部分の移轉を終りたるも檀家の一部に於て特設墓地に移轉せらるるを希望せざるものあり之が諒解に時日を要し昭和三年十月に至り漸く之を終了せり。

以上墳墓の内一部は其の檀家に於て他の寺院の墓地に移轉したるものあるも其の大部分は各寺院の特設墓地に移轉したり。

丙 地下埋設物其の他工作物整理

第一章 概 説

本地區に於ける工事數量は本枝管線處理電柱六百四十三本、管線路一萬五千二百六十一、...

丙 地下埋設物其他工作物整理

第一章 概説

本地區に於ける工事數量は本枝管線處理電柱六百四十三本、管線路一萬五千二百六十一間一、其他二十六箇所(一地區集計電柱三百十六本、管線路一萬九百二十三間九、應急整理一工事電柱五本、其他十九箇所、假本整理電柱三百二十二本、管線路四千三百三十七間二、其他七箇所)及私有管線處理六千六百九十六件にして、内道路占用の許可又は承認を爲したる要求工事九百二十九件、内道路後修を要したるもの五百十件なり、之を事業別に見るに水道工作物管線路六千四百三十間五、其他千五百五十八件及十六箇所整理費八萬千三百圓七十二錢、東電工作物電柱六百四十三本、管線路六百七十九間、其他四千六百七十七件及十箇所整理費六萬八千三百八十五圓二十一錢、瓦斯工作物管線路八千五百五十一間六其の他八百五十七件整理費五萬六千六百九十二圓七十七錢、電話四件整理費三十圓なり、而して本地區に於ける整理費は總計二十萬六千四百八圓七十錢にして、内私有管線の八萬五千百十九圓二十三錢を最高とし、一地區集計の七萬六千四百八圓八錢之に次ぎ、其の他は假本整理、道路後修、應急整理一工事の順序なり、是等の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

| 種類 | 數量 | 金額 |
|----------|---------|-----|
| 本枝管線處理電柱 | 643 | ... |
| 管線路 | 15,261 | ... |
| 其他 | 26 | ... |
| 假本整理電柱 | 322 | ... |
| 管線路 | 4,337 | ... |
| 其他 | 7 | ... |
| 私有管線處理 | 6,696 | ... |
| 水道工作物管線路 | 6,430 | ... |
| 其他 | 1,558 | ... |
| 東電工作物電柱 | 643 | ... |
| 管線路 | 679 | ... |
| 其他 | 4,677 | ... |
| 瓦斯工作物管線路 | 8,551 | ... |
| 其他 | 857 | ... |
| 電話 | 4 | ... |
| 整理費總計 | 206,487 | ... |
| 私有管線 | 85,519 | ... |
| 一地區集計 | 76,488 | ... |

第四十八地區

丙 地下埋設物其他工作物整理

| | | | | | | |
|------|-----|----------|-----------|-----------|-------|-----------|
| 計 | 市負擔 | 三、七〇七・七四 | 二九、四四二・九七 | 一九、三〇二・四〇 | 三〇・〇〇 | 八二、四八三・二 |
| 計 | 市負擔 | 三、一三三・七 | 三〇、七三二・一 | 一九、八三二・四〇 | 三〇・〇〇 | 八五、一三二・三 |
| 道路後修 | 市負擔 | 五、四七二・四 | 七〇六・一九 | 三、二二一・六〇 | — | 九、三九〇・二 |
| 國負擔 | | 五、〇一一・七 | 三、一〇六・一 | 二、九三二・四 | — | 一一、〇四一・〇〇 |

年度別工事費支拂進捗状況

| 種別 | 合計 | | 市負擔 | | 支拂未済 | 計 |
|---------|--------|---------|----------|----------|---------|----------|
| | 昭和二年 | 昭和三年 | 昭和四年 | 昭和五年 | | |
| 一 地區集計 | — | 三、九〇七・四 | 二五、一五〇・二 | 一七、三五〇・九 | — | 七、四〇八・〇 |
| 應急整理一工事 | — | 二六・四二 | 七三・八三 | 八四・九 | — | 一、〇三八・四 |
| 假本整理 | — | 二〇・五 | 八、三九・三 | 二五、八七八・八 | — | 三四、四五二・七 |
| 私有管線 | 三、〇五・九 | 二九、〇三・七 | 四三、五七七・五 | 六、〇三三・九 | 三、四三九・六 | 八五、一九三・三 |
| 道路後修 | — | 九三・九一 | 六、〇二四・七 | 二、三九七・七 | 四五・〇八 | 九、三九〇・二 |
| 計 | 三、〇五・九 | 四三、二八・三 | 八三、八六九・八 | 五、七四六・六 | 三、四八四・四 | 二〇六、四八・七 |
| 進捗歩合% | — | 三 | 四一 | 一五 | 二 | 一〇〇 |

第二章 本枝管線處理

第一節 應急整理一地區集計

第四十八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

本地區に於ける當初契約數量は電柱二百三十本、管線路一萬三千八十五間三及之に關係せる各種工作物にして此の整理費十萬千七百二十一圓二十三錢なり、而して假契約は水道工作物に關し大正十五年九月四日締結したるを、工事は東電工作物に關し昭和二年十月十八日著手したるを、本契約は瓦斯工作物に關し同年十二月十二日締結したるを各最初とし、それより逐次各事業者と契約を締結し工事を施行したり、其の事業者別契約並工事狀況を示せば左の如し。

| 事業者 | 假契約年月日 | 本契約年月日 | 工事著手年月日 | 工事竣功年月日 |
|----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 市水道局 | 大正 一五、九、四 | 昭和 三、五、二 | 昭和 三、二、二 | 昭和 四、三、二七 |
| 東京電燈株式會社 | 昭和 二、一〇、二 | 昭和 三、四、一八 | 昭和 二、一〇、一八 | 昭和 五、一、一〇 |
| 東京瓦斯株式會社 | 昭和 二、一、二四 | 昭和 二、三、三 | 昭和 二、三、五 | 昭和 五、四、三〇 |

工事施行中設計變更を爲したる件數三十七件ありたる結果、電柱に於て八十六本増加したるも管線路に於て二千六百六十一間四減少したる爲、工事費に於て二萬五千三百三十三圓十五錢の減額を爲せり、其の設計變更狀況を示せば左の如し。

| 種別 | 電柱 | | 管線路 | | 計 |
|-----------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| | 數量 | 金額 | 數量 | 金額 | |
| 當初契約 | 二三〇 ^本 | 一七、〇七六・三 ^円 | 一三、〇八五・三 ^間 | 八四、六四四・八 ^円 | 一〇一、七二二・三 ^円 |
| 設計變更後(精算) | 三六 | 二〇、四〇〇・一五 | 一〇、九三三・九 | 五、〇六七・九 ^三 | 七六、四八・〇八 |
| 差引増△減 | 六 | 三、三二六・八二△ | 二、一六四・四△ | 二八、五七六・六△ | 三五、三三三・一五 |

尙工事並支拂狀況等を示せば左の如し。

工事進捗狀況

| 年 度 | 電 柱 | | 管 線 路 | | 計 | 歩 合 % |
|-----|-----|----|-------|----|---|-------|
| | 數量 | 金額 | 數量 | 金額 | | |
| | | | | | | |

| | | | | | |
|------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|
| 當 初 契 約 | 三三〇 ^本 | 一七、〇七六・三 ^円 | 一三、〇八五・三 ^開 | 八四、六四四・八 ^円 | 101,711・三 ^円 |
| 設計變更後(精算) | 三三六 | 二〇、四〇〇・二五 | 一〇、九三三・九 | 五、〇六七・九 ^三 | 七六、四八・〇 ^八 |
| 差引増△減 | 六 | 三、三三三・八一△ | 二、一六四・四△ | 二八、五七六・九 ^六 | 二五、三三三・一五 |

尙工事並支拂狀況等を示せば左の如し。

工事進捗狀況

| 年 度 | 電 柱 | | 管 線 | | 計 額 | 計 歩 合 % |
|------------------|----------------|----------------------|--------------------|----------------------|----------------------|------------------|
| | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | | |
| 昭 和 二 年 | 四 ^本 | 二、七六六・六 ^円 | 六八三・九 ^開 | 三、八三三・元 | 六、五九九・五五 | 九 |
| 昭 和 三 年 | 二二七 | 一五、一五五・二 | 三、五九七・〇 | 一八、八四四・三〇 | 三四、〇九九・四 | 四 |
| 昭 和 四 年 | 三六 | 二、三三八・七 | 六、五八二・〇 | 三三、二七三 | 三五、五三六・二 | 四 |
| 昭 和 五 年 | 一 | — | 六・〇 | 二二五・〇一 | 七六、四八・〇 ^八 | 一 |
| 計 | 三二六 | 二〇、四〇〇・二五 | 一〇、九三三・九 | 五、〇六七・九 ^三 | 七六、四八・〇 ^八 | 100 |

支拂狀況

| 年 度 | 國 負 擔 | | 市 負 擔 | | 計 額 | 計 歩 合 % |
|------------------|-------------|----------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
| | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | | |
| 昭 和 三 年 | — | 三、七九七・七 ^円 | 三〇、一七七・二八 | 三三、九七四・〇 ^四 | 三三、九七四・〇 ^四 | 四 |
| 昭 和 四 年 | — | 二、七六六・五 | 三三、三八三・六 | 二五、一五〇・二 | 二五、一五〇・二 | 三 |
| 昭 和 五 年 | — | 一、九〇八・六 | 一五、四三三・三 | 一七、五〇〇・九 | 一七、五〇〇・九 | 三 |
| 計 | — | 八、四〇四・八 | 六六、〇〇三・二〇 | 七六、四八・〇 ^八 | 七六、四八・〇 ^八 | 100 |

負擔別對照

第四十八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

| 負擔區分 | 潰地面積 | 比率% | 市水道局 | | 東京電燈株式會社 | | 東京瓦斯株式會社 | | 計 | |
|----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------|
| | | | 契約金額 | 精算金額 | 契約金額 | 精算金額 | 契約金額 | 精算金額 | 契約金額 | 精算金額 |
| 幹線街路費 | 一、四二六・七六 | 五 | 一、六二九・八九 | 一、〇六四・八九 | 一、一五・四五 | 一、四五三・〇一 | 一、〇六五・〇六 | 五、〇六六・〇五 | 三、八二〇・四〇 | |
| 運河費 | 一、九九五・九三 | 六 | 一、九五・八六 | 一、二七七・八八 | 一、三三〇・五四 | 一、七四三・四一 | 一、二七八・〇八 | 六、一〇三・二八 | 四、五八四・四八 | |
| 計 | 三、三二二・六九 | 一一 | 三、五八五・七五 | 二、三四一・七七 | 二、四八五・九九 | 三、一四三・四二 | 二、三四三・一四 | 一一、八九三・三三 | 八、四四四・八八 | |
| 補助線街路費 | 二、四九八・七一 | 四〇 | 一三、〇三九・一一 | 八、五九二・一六 | 九、〇〇三・六〇 | 一一、六六六・〇八 | 八、五三〇・五三 | 四〇、六八八・四九 | 三〇、五三三・二四 | |
| 市負擔土地整理費 | 一五、四二五・二六 | 四九 | 一五、九七三・九〇 | 一〇、四三三・九八 | 一一、〇九一・四一 | 一四、三九六・九 | 一〇、四三七・六五 | 四九、八四三・四一 | 三七、四三九・九六 | |
| 計 | 二七、九三三・七七 | 八九 | 二九、〇三〇・二 | 一八、九三二・一四 | 二〇、〇三三・〇一 | 二五、八四三・七七 | 一八、九六八・八 | 九〇、五三三・〇〇 | 六六、〇〇三・二〇 | |
| 合計 | 三三、三三六・五五 | 一〇〇 | 三三、五七三・七六 | 三三、二九七・九一 | 三三、五九一・〇〇 | 三九、〇四〇・一九 | 三二、三〇一・三三 | 一〇一、七三三・三三 | 七六、四八八・〇八 | |

補償金對照

| 工種 | 市水道局 | | 東京電燈株式會社 | | 東京瓦斯株式會社 | | 計 | |
|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 契約金額 | 精算金額 | 契約金額 | 精算金額 | 契約金額 | 精算金額 | 契約金額 | 精算金額 |
| 既設工作物と整理工作物と一致せる部分 | 二四、五三三・七三 | 七、六三三・七四 | 一八、四九九・五七 | 一九、九六二・三五 | 二二、六八五・五六 | 一七、四二六・二九 | 六五、七七八・八六 | 四五、〇〇三・三八 |
| 過不足分(一致せざる部分) | 三三、二六五・二六 | 三三、五九六・五九 | 九四八・三八 | 一、四六〇・六一 | 二、一二二・二七 | 二、二九六・六三 | 二六、三三四・八一 | 二六、三三三・八三 |
| 累計する分 | 九〇七・六三 | 三四一・三三 | — | 四一七・三 | 一、五九三・四五 | 一、五八八・四〇 | 二、五〇一・〇八 | 一、九七一・四四 |
| 小計 | 四、七六六・三三 | 三〇、五六一・五 | 一九、四四七・五五 | 二二、四四六・六 | 二六、〇〇〇・一八 | 二二、三〇三・三三 | 九四、六四四・七五 | 七三、三三七・五 |
| 附帶工事分(假工事を含む) | 二、六六五・一一 | 二、〇三六・一一 | 一、八四九・九六 | 一、〇四四・三三 | 二、六四〇・〇一 | — | 七、一〇六・四八 | 三、〇〇〇・四三 |
| 補償額計 | 五、四三一・三三 | 三三、五七七・七六 | 二二、二九七・九一 | 三三、五九一・〇〇 | 二九、〇四〇・一九 | 二二、三〇三・三三 | 一〇一、七三三・三三 | 七六、四八八・〇八 |

第二節 應急整理一工事

本地區に於ける應急整理一工事は件數十一件整理費千三十八圓四十四錢全部市負擔にして、昭和二年十一月十一日東京電燈株式會社關係工作物の整理に着手したるを最初とし、それより逐次各種工事を施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局六件金額七百四十七圓四十八錢、東京電燈株式會社五件金

工事進捗状況

| 年 度 | 電 柱 | | 其 他 | | 計 | 歩 合 % |
|---------|-----|-------------------|-----|-------------------|---------------------|-------|
| | 數 量 | 金 額 | 數 量 | 金 額 | | |
| 昭 和 二 年 | 三本 | 八〇・九 ^円 | 一ヶ所 | 四〇・六 ^円 | 一二三・四〇 ^円 | 三 |
| 昭 和 三 年 | 二 | 三・〇四 | 三 | 五三・七一 | 五六一・七五 | 五 |
| 昭 和 四 年 | 一 | 一 | 六 | 三五・二元 | 三五・二元 | 三 |
| 計 | 五 | 二八・八三 | 九 | 九九・六一 | 一、〇八八・四四 | 一〇〇 |

支拂状況

| 年 度 | 市 負 擔 | 歩 合 % |
|---------|----------|-------|
| | | |
| 昭 和 四 年 | 七三・八三 | 七 |
| 昭 和 五 年 | 八四・一九 | 八 |
| 計 | 一、〇八八・四四 | 一〇〇 |

第三節 假本整理

本地區に於ける假本整理工事は件數五十四件整理費三萬四千四百五十二圓七十四錢全部市負擔にして昭和三年五月三日東京電燈株式會社關係工作物の整理に着手したるを最初としそれより逐次各種工事を

施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局六件金額七千三百四十九圓三十四錢、東京電燈株式會社三十九件金額一萬四千八百五圓九十五錢、東京瓦斯株式會社九件金額一萬二千二百九十七圓四十五錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

第三節 假本整理

本地區に於ける假本整理工事は件數五十四件整理費三萬四千四百五十二圓七十四錢全部市負擔にして昭和三年五月三日東京電燈株式會社關係工作物の整理に著手したるを最初としそれより逐次各種工事を

施行せり、之を事業者別に見るときは市水道局六件金額七千三百四十九圓三十四錢、東京電燈株式會社三十九件金額一萬四千八百五圓九十五錢、東京瓦斯株式會社九件金額一萬二千二百九十七圓四十五錢なり、其の工種別及工事並支拂狀況を示せば左の如し。

工事種別

| 種別 | 水道 | | 東電 | | 瓦斯 | | 計 | |
|------|----|----|-----------------------|-----------|----|----|-----------------------|-----------|
| | 數量 | 金額 | 數量 | 金額 | 數量 | 金額 | 數量 | 金額 |
| 交通支障 | 電柱 | — | 三〇本 | 一四、三五四・〇四 | — | — | 三〇本 | 一四、三五四・〇四 |
| | 管線 | — | 三九〇 <small>ヶ所</small> | 二八五・九四 | — | — | 三九〇 <small>ヶ所</small> | 二八五・九四 |
| | 其他 | — | — | 四七・〇七 | — | — | — | 四七・〇七 |
| 其他 | 電柱 | — | 二本 | 一四、六七〇・〇五 | — | — | 二本 | 一四、六七〇・〇五 |
| | 管線 | — | — | 二八・九〇 | — | — | — | 二八・九〇 |
| | 其他 | — | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | 電柱 | — | 三二本 | 一四、四七二・九四 | — | — | 三二本 | 一四、四七二・九四 |
| | 管線 | — | — | 二八・九四 | — | — | — | 二八・九四 |
| | 其他 | — | — | 四七・〇七 | — | — | — | 四七・〇七 |
| 合計 | 電柱 | — | 三二本 | 一四、四七二・九四 | — | — | 三二本 | 一四、四七二・九四 |
| | 管線 | — | — | 二八・九四 | — | — | — | 二八・九四 |
| | 其他 | — | — | 四七・〇七 | — | — | — | 四七・〇七 |

| 年 度 | 電 柱 | | 管 線 路 | | 其 の 他 | | 計 | 歩 合 % |
|---------|-----|------------------------|-----------------------|-------------------------|-------|-------------------|-----------------------|-------|
| | 數量 | 金 額 | 數量 | 金 額 | 數量 | 金 額 | | |
| 昭 和 三 年 | 四本 | 二、六、三三 ^円 | 五〇二 ^間 | 一、八、六九 ^円 ・五三 | 一ヶ所 | 二、七二 ^円 | 四、一、四、四六 ^円 | 三 |
| 昭 和 四 年 | 二六 | 二、八、九二 ^円 ・六 | 三、〇〇七 ^間 ・七 | 二、六、七、四五 | 六 | 四、三 | 二、四、五、一〇六 | 七 |
| 昭 和 五 年 | 六 | 三、一、四 | 八七 ^間 ・五 | 五、三、五、七六 | 一 | 一 | 五、七、七、二三 | 一七 |
| 計 | 三三 | 一、四、七、七・四 | 四、三、七、二 | 一、九、三、三・七三 | 七 | 四七・〇七 | 三、四、四、三・四 | 一〇〇 |

支拂状況

| 年 度 | 市 負 擔 | 歩 合 % |
|---------|----------------------|-------|
| 昭 和 三 年 | 二〇四 ^円 ・五九 | 一 |
| 昭 和 四 年 | 八、三、九、三 | 二四 |
| 昭 和 五 年 | 二五、八、六、八四 | 七五 |
| 計 | 三、四、四、三・四 | 一〇〇 |

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事に關する申請書の受付は大正十五年六月十二日より之を開始し昭和五年五月十五日迄に全部の受付を了したり、而して工事は大正十五年九月十九日之に著手しそれより順次建物移轉の進捗に伴ひ各種工作物の整理を爲し、昭和五年七月十二日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は六千六百九十六件金額八萬五千百十九圓二十三錢にして、之を事業別に見るときは水道千五百五十八件金額三萬五千百三十三圓七十二錢、東電四千六百七十七件金額三萬七十三圓十一錢

第三章 私有管線處理

本地區に於ける私有管線整理工事に關する申請書の受付は大正十五年六月十二日より之を開始し昭和五年五月十五日迄に全部の受付を了したり、而して工事は大正十五年九月十九日之に著手しそれより順次建物移轉の進捗に伴ひ各種工作物の整理を爲し、昭和五年七月十二日を以て全工事を完了したり、其の申請書並整理件数は六千六百九十六件金額八萬五千百十九圓二十三錢にして、之を事業別に見るときは水道千五百五十八件金額三萬五千三百三十三圓七十二錢、東電四千六百七十七件金額三萬七十三圓十一錢瓦斯八百五十七件金額一萬九千八百八十二圓四十錢、電話私設電話四件金額三十圓なり、尙建物一棟當りの裝置數を見るに水道〇・二八栓、電燈二・五燈、瓦斯〇・二一個計量器數なり、其の工事並支拂狀況を示せば左の如し。

| 年 度 | 工 事 狀 況 | | | 支 拂 狀 況 | | |
|-------|---------|-----------|-------|---------|--------|--------|
| | 件 數 | 金 額 | 歩 合 % | 國 負 擔 | 市 負 擔 | 合 計 |
| 大正十五年 | 一六 | 一八七・七四 | 一 | — | — | — |
| 昭和二年 | 九六 | 一一、九三〇・〇〇 | 一四 | 二〇 | 四四二 | 四五一 |
| 昭和三年 | 五、四五一 | 六九、二六・二五 | 八〇 | 四九 | 一、六六六 | 一、七五五 |
| 昭和四年 | 二八五 | 三、六四・二六 | 四 | 一〇〇 | 三、九四四 | 四、〇四四 |
| 昭和五年 | 五 | 一五・〇八 | 一 | 二 | 四四三 | 四五四 |
| 未 濟 | — | — | — | — | 六 | 六 |
| 計 | 六、六六六 | 八五、二九・三三 | 一〇〇 | 一七 | △二、八四六 | △六、六六六 |

備考 △印は再設費未支拂(撤去費は支拂済)のもの。
第四十八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

第四十八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

前記の内事業者拂に属するもの六千六百三十四件金額七萬千四百十二圓四十六錢にして、内國負擔百六十九件金額二千百三十二圓九十八錢、市負擔六千四百六十五件金額六萬九千二百七十九圓四十八錢なり、尙現金補償に属するもの(移設費を含む)千四百三十一件金額一萬三千七百六圓七十七錢にして、内國負擔四十件金額五百三圓十四錢、市負擔千三百九十一件金額一萬三千二百三圓六十三錢なり、其の負擔狀況を示せば左の如し。

| 種別 | 水道 | | 東電 | | 瓦斯 | | 電話 | | 計 | |
|-----------|-----|---------|---------|---------|-------|---------|-------|---------|---------|---------|
| | 件數 | 金額 | 件數 | 金額 | 件數 | 金額 | 件數 | 金額 | 件數 | 金額 |
| 事業者拂 | 國負擔 | 四一、一九・五 | 九 | 四六・五 | 二五 | 四七・七 | 一 | 一六 | 四一、一九 | 二、三三・九 |
| | 市負擔 | 一、〇五二・九 | 四、五九二・三 | 八三二・七 | 〇八二・五 | 六、四六五・六 | 二、九・四 | 六、四六五・六 | 一、〇五三・九 | 六、四六五・六 |
| 現金補償(個人拂) | 再設費 | 一〇、三三・四 | 一三 | 一六・五 | 六 | 一七・二 | 一 | 三 | 一〇、三三 | 四九・九 |
| | 移設費 | 八二、六三・〇 | 一、〇四 | 六、一五四・六 | 三三 | 二、九八・四 | 一 | 一 | 八二、六三 | 一、三〇二・〇 |
| 合 計 | 國負擔 | 四一、一九・五 | 九 | 四六・五 | 二五 | 四七・七 | 一 | 一六 | 四一、一九 | 二、三三・九 |
| | 市負擔 | 一、〇五三・〇 | 四、六〇五・六 | 八三二・七 | 〇八二・五 | 六、四六五・六 | 二、九・四 | 六、四六五・六 | 一、〇五三・〇 | 六、四六五・六 |
| 合 計 | 國負擔 | 四一、一九・五 | 九 | 四六・五 | 二五 | 四七・七 | 一 | 一六 | 四一、一九 | 二、三三・九 |
| | 市負擔 | 一、〇五三・〇 | 四、六〇五・六 | 八三二・七 | 〇八二・五 | 六、四六五・六 | 二、九・四 | 六、四六五・六 | 一、〇五三・〇 | 六、四六五・六 |

備考 合計件數欄中には再設費補償件數を含まず。

| | | | | | | |
|---|------------|------------|----------|---|------|------------|
| 計 | 一、二八三、三三・七 | 四、六七三、〇〇・二 | 八三二、八二・四 | 四 | 三〇・〇 | 六、六六八、二九・三 |
|---|------------|------------|----------|---|------|------------|

| | | | | | |
|----------|----------|---------|-----------|----|------|
| 市土木局下水課 | 昭和二、二、二六 | 昭和三、四、五 | 昭和四、一〇、一八 | 一 | 二 |
| 東京電燈株式會社 | 昭和二、二、三 | 昭和二、四、一 | 昭和五、一、三 | 六 | 四三 |
| 東京瓦斯株式會社 | 昭和二、二、三 | 昭和二、四、五 | 昭和四、一、一〇 | 六九 | 一、三二 |
| | | | | | 一、九六 |

第一 要求工事

本地區に於ける要求工事は九百二十九件其の延長一萬三千五百六十八間八四、掘鑿面坪四千二百八坪三八にして、之を事業者別に見るときは市水道局二百五件其の延長六千七百五十九間八四、掘鑿面坪二千四十四坪八二、東京電燈株式會社六十六件其の延長千四百六十六間四三、掘鑿面坪四百六十二坪〇四、東京瓦斯株式會社六百五十八件其の延長五千七百六十二間五七、掘鑿面坪千七百一坪五二なり、尙之を類別すれば大掘鑿百二十五件其の延長一萬三千三百十五間八五、掘鑿面坪三千六百八坪四三、小掘鑿八百四件其の延長二千二百五十二間九九、掘鑿面坪五百九十九坪九五なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

| 年 度 | 大 掘 鑿 | | | 小 掘 鑿 | | | 計 | | |
|------|----------|--------|--------|-------|--------|-------|----|--------|--------|
| | 件數 | 延 長 | 掘鑿面坪 | 件數 | 延 長 | 掘鑿面坪 | 件數 | 延 長 | 掘鑿面坪 |
| 昭和二年 | 市水道局 | 一 | 九、三〇 | 三 | 九七、六四 | 一四、四 | 三 | 一八九、九四 | 七〇、八六 |
| | 東京電燈株式會社 | 八 | 五四、〇〇 | 一 | — | — | 八 | 五四、〇〇 | 二九、九〇 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 三 | 二九、七〇 | 九、〇四 | 一〇一、三三 | 三〇、七〇 | 九〇 | 四〇〇、〇三 | 二九、七四 |
| 計 | 一二 | 一四四、〇〇 | 一七五、三九 | 二七 | 一九九、九七 | 五五、一一 | 二九 | 六四〇、一七 | 二三〇、五〇 |

| 年 度 | 大 掘 鑿 | | | 小 掘 鑿 | | | 計 | | |
|------|----------|----------|----------|-------|----------|--------|----------|----------|--------|
| | 件數 | 延 長 | 掘鑿面坪 | 件數 | 延 長 | 掘鑿面坪 | 件數 | 延 長 | 掘鑿面坪 |
| 昭和三年 | 市水道局 | 三 | 一、三九六、六五 | 七 | 六二、二六 | 一五、二九 | 九 | 二、〇一七、八一 | 六〇、三三 |
| | 東京電燈株式會社 | 四 | 六四六、三五 | — | — | — | 四 | 六四六、三五 | 二六〇、六八 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 一七 | 一、五〇〇、〇〇 | 四七九、六 | 四四五 | 五〇九、一七 | 四六二 | 二、〇三九、三七 | 六三三、四三 |
| 計 | 二四 | 三、五四二、六〇 | 一、四〇一、一〇 | 一一二 | 一、一三〇、三三 | 一五〇、四〇 | 一、六一七、〇四 | 一、五〇四、四四 | |

| 株式會社 | 計 |
|-----------|-----------|
| 東京瓦斯 | 東京瓦斯 |
| 一〇七 | 一〇七 |
| 四〇八・九 | 四〇八・九 |
| 一三 | 一三 |
| 一六二、四七五・五 | 一六二、四七五・五 |
| 七 | 七 |
| 四 | 四 |
| 三六・八四 | 三六・八四 |
| 一〇 | 一〇 |
| 一 | 一 |
| 二六七 | 二六七 |
| 三、二一・六〇 | 三、二一・六〇 |
| 一八五 | 一八五 |
| 九三三・九一 | 九三三・九一 |
| 一〇 | 一〇 |
| 三六六、〇四・四七 | 三六六、〇四・四七 |
| 三 | 三 |
| 五二、三九七・七五 | 五二、三九七・七五 |
| 二六 | 二六 |
| 四 | 四 |
| 四五・〇八 | 四五・〇八 |
| 一 | 一 |
| 一五〇 | 一五〇 |
| 九、三九〇・二 | 九、三九〇・二 |

第二 非要求工事

本地區に於ける非要求工事は千六百四十五件其の延長一萬三千三百九十七間七、掘鑿面坪五千五百五十八坪三九にして、之を事業者別に見るときは市水道局二百八十件其の延長三千二十一間六八、掘鑿面坪千四百四十九坪〇六、市土木局下水課十一件其の延長三千四間五五、掘鑿面坪二千三百四十八坪九六、東京電燈株式會社四十三件其の延長六百五十間三四、掘鑿面坪百七十二坪九一、東京瓦斯株式會社千三百一十一件其の延長六千七百二十一間一三、掘鑿面坪千八百八十七坪四六なり、尙之を類別すれば大掘鑿百四十二件其の延長九千七百七十九間九、掘鑿面坪四千二百五十八坪八四、小掘鑿千五百三十三件其の延長四千二百十七間八、掘鑿面坪千二百九十九坪五五なり、其の事業者別許可又は承認狀況を示せば左の如し。

| 年 | 大 掘 鑿 | | 小 掘 鑿 | | 計 | |
|------|----------|----|---------|--------|-------|---------|
| | 件數 | 延長 | 件數 | 延長 | 件數 | 延長 |
| 昭和二年 | 市水道局 | 一 | 四七 | 一八九・二六 | 四七 | 一八九・二六 |
| | 東京電燈株式會社 | 二 | 四・八〇 | — | 二 | 四・八〇 |
| 昭和二年 | 市水道局 | 五 | 二五・〇 | 二四 | 二五四・五 | 四七九・六 |
| | 東京瓦斯株式會社 | 七 | 二四・八〇 | 一六 | 二二・六 | 一八三・七 |
| 計 | 市水道局 | 五 | 二八・六五 | 七 | 六五・九六 | 九四・六一 |
| | 市土木局下水課 | 二 | 一、〇七五・五 | — | — | 一、〇七五・五 |
| 昭和二年 | 市水道局 | — | — | 四七 | 四七・三 | 四七・三 |
| | 東京電燈株式會社 | — | — | — | — | — |
| 昭和二年 | 市水道局 | — | — | — | — | — |
| | 東京瓦斯株式會社 | — | — | — | — | — |
| 計 | 市水道局 | — | — | — | — | — |
| | 市土木局下水課 | — | — | — | — | — |

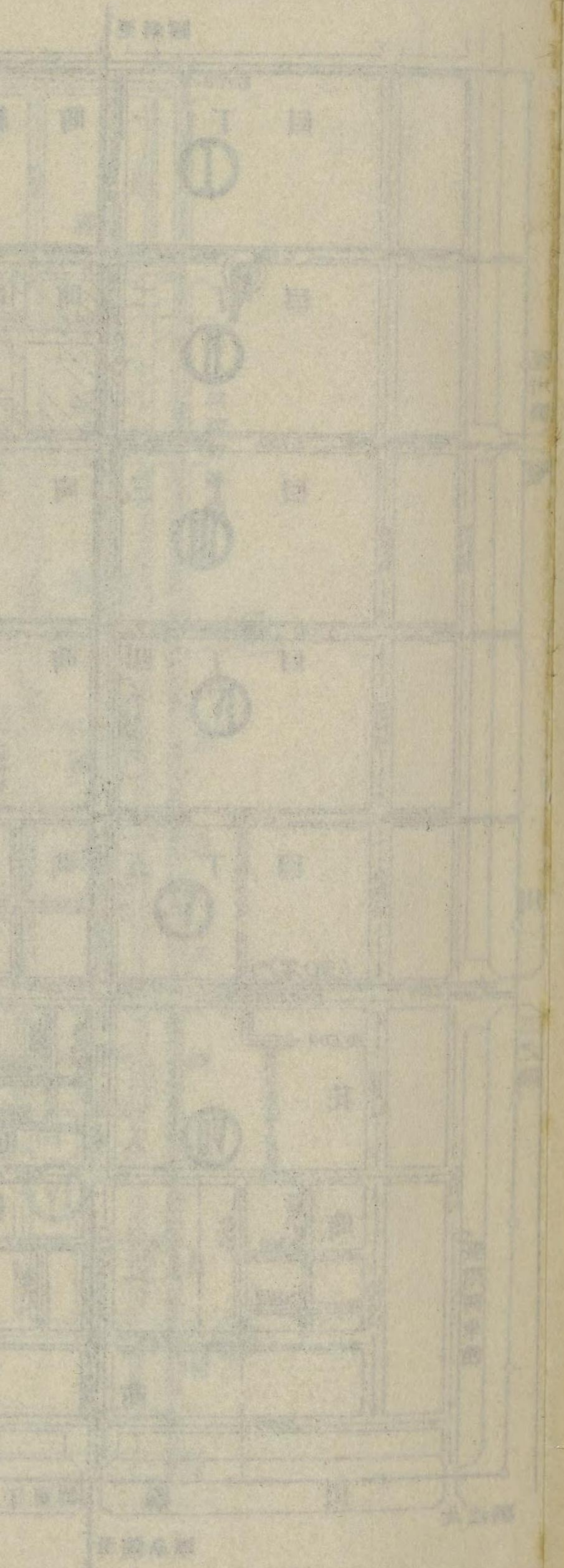
| 昭和三年 | |
|----------|----|
| 東京電燈株式會社 | 三 |
| 東京瓦斯株式會社 | 九 |
| 計 | 三 |
| 市水道局 | 三 |
| 市土木局下水課 | 九 |
| 計 | 一二 |
| 東京電燈株式會社 | 三 |
| 東京瓦斯株式會社 | 九 |
| 計 | 一二 |
| 市水道局 | 三 |
| 市土木局下水課 | 九 |
| 計 | 一二 |

第四十八地區 丙 地下埋設物其他工作物整理

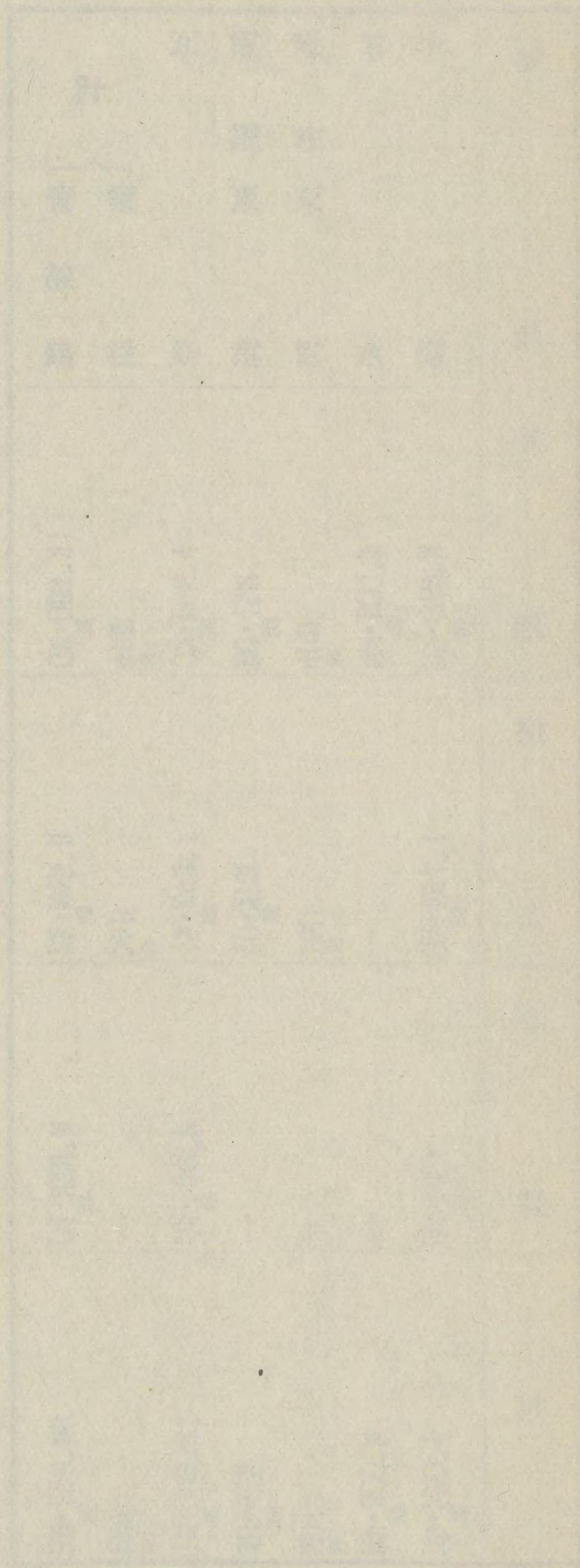
| 種別 | 新設 | 撤去 | 埋殺 | 計 |
|----|----------------|---------------|---------------|----------------|
| 水道 | 五、五七〇・九二 間 | 一、一七五・八〇 間 | 二九二・五〇 間 | 七、〇三九・二二 間 |
| 電柱 | 三、〇〇四・五五 間 | 二九八 本 | | 三、〇〇四・五五 間 |
| 電纜 | 五九一・〇三 間 | 三六・二二 間 | | 九一七・二四 間 |
| 瓦斯 | 七、五七三・八〇 間 | 一、四七三・九一 間 | 三、三五一・六〇 間 | 二二、〇〇〇・三三 間 |
| 電管 | 四七 本 | 二九 本 | | 七五 本 |
| 計 | 一六、七四〇・三〇 間 | 二、九七五・九三 間 | 三、六四五・一〇 間 | 二三、一六一・三三 間 |

談話前

(野 蘭)

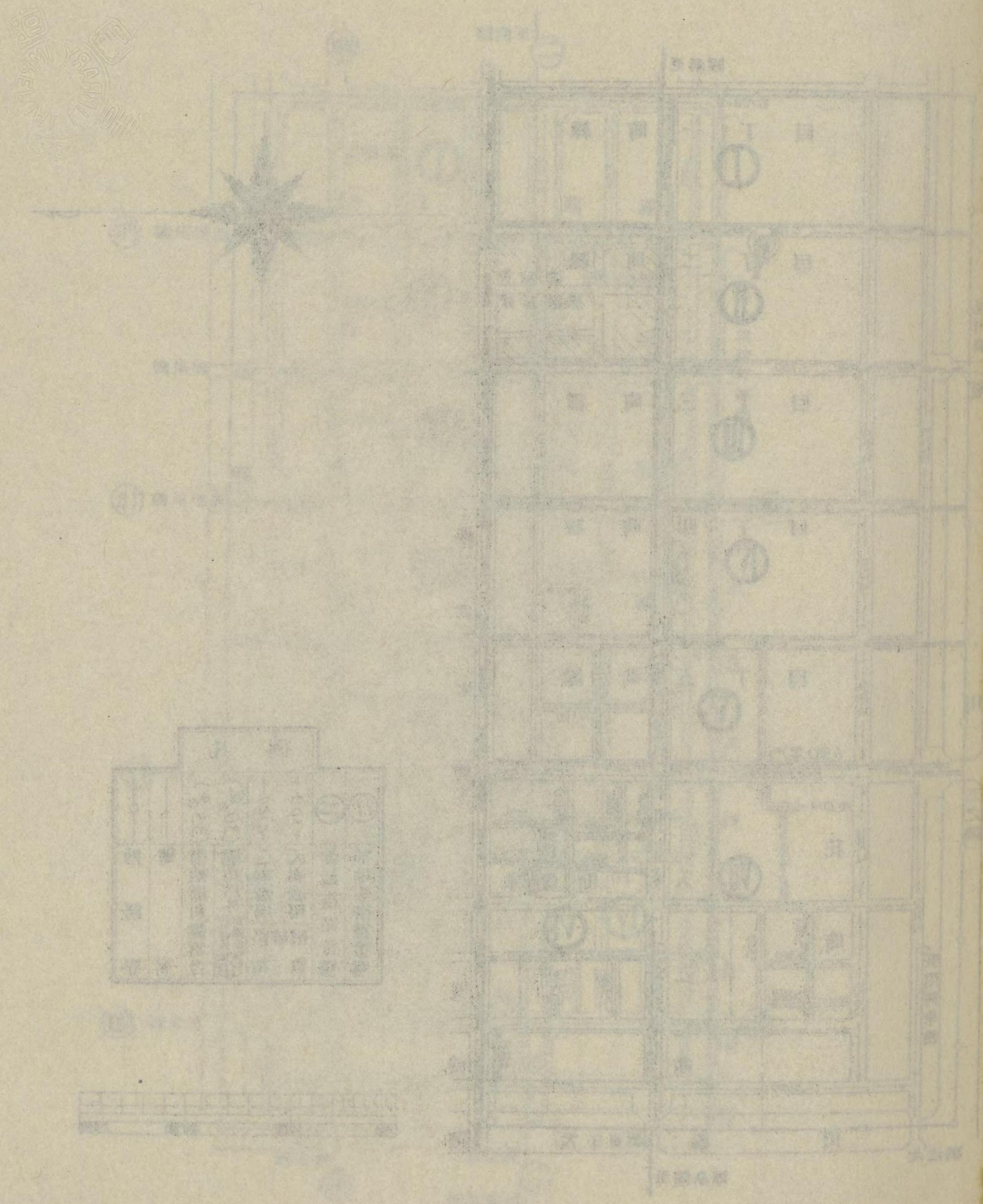


卷五十一



圖況標紙前增編

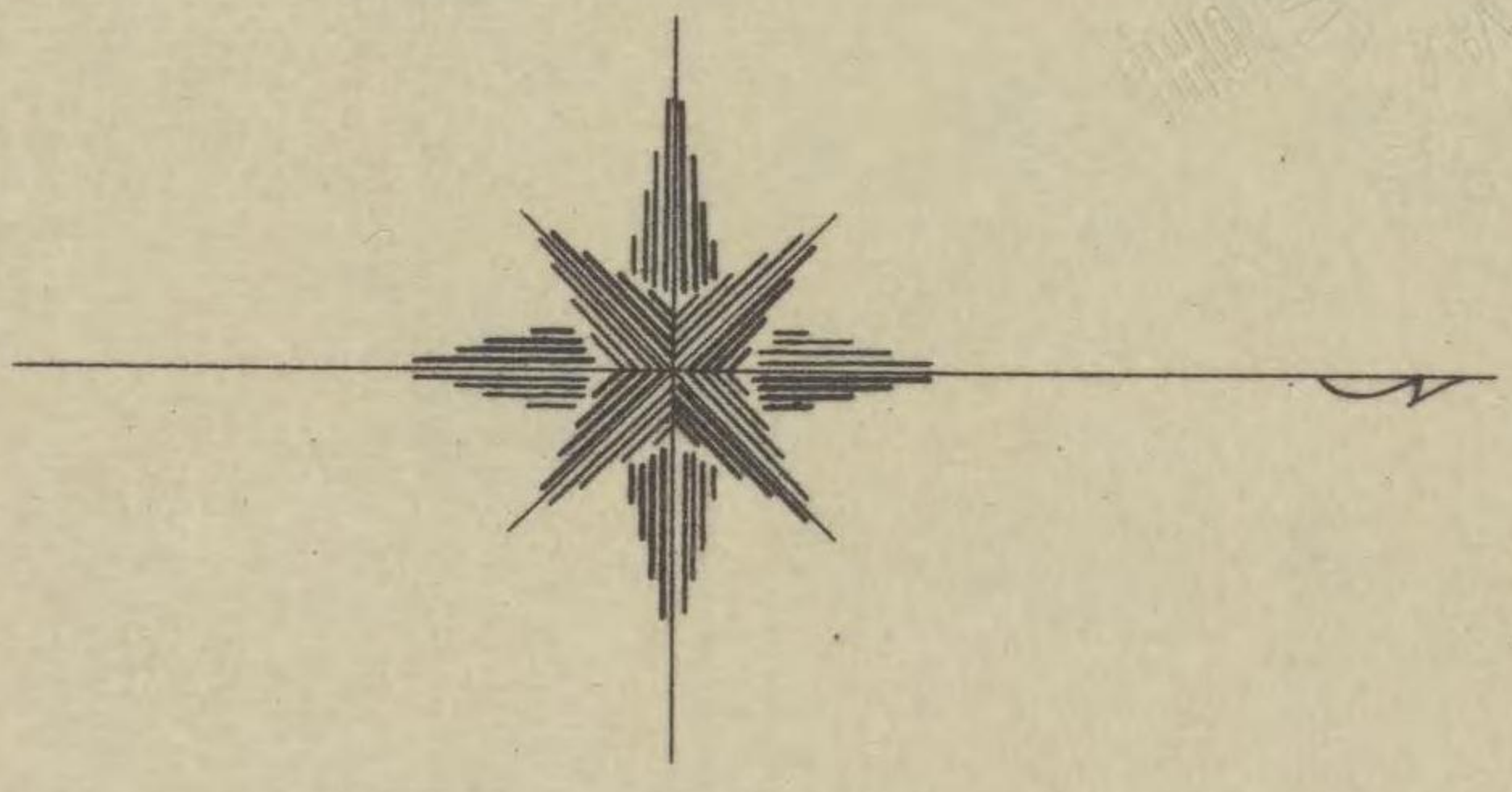
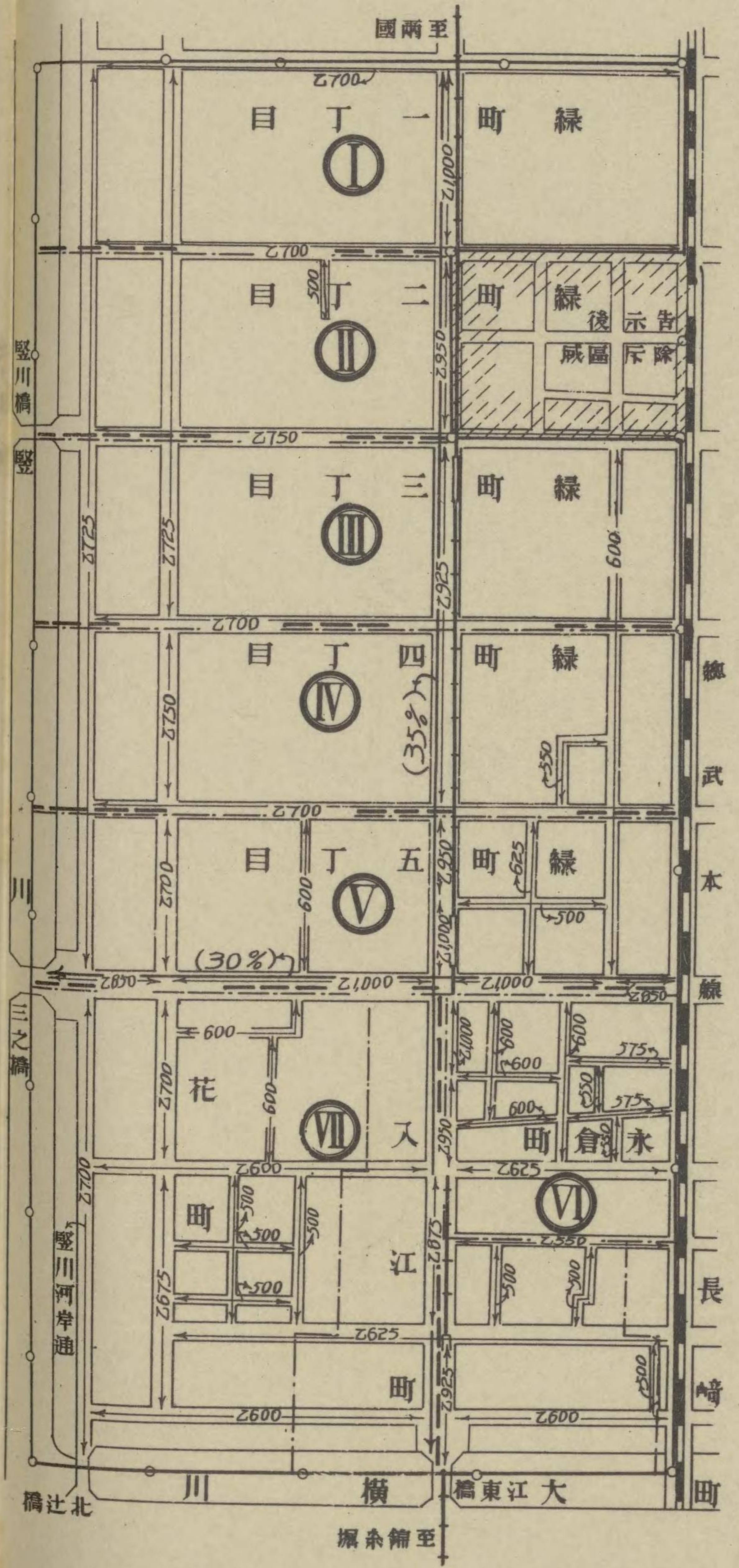
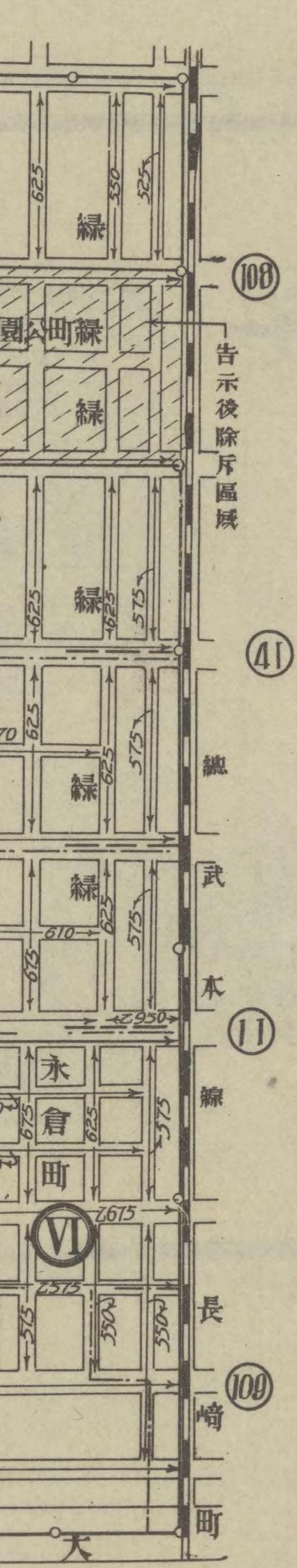
(後理(登)野前)



第五十五區整理前後概

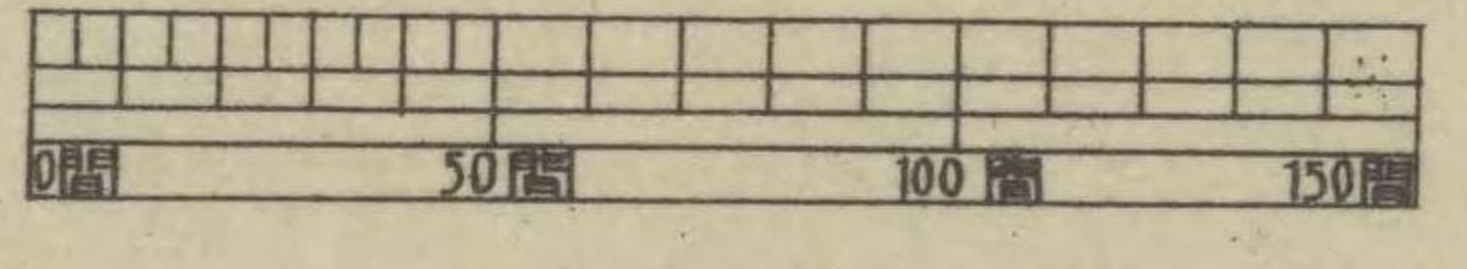
(整)

(前理整)



例凡

| | | | | | | | |
|---------|--------|---------|--------|----------|---------|-----|-----|
| Ⓜ | Ⓝ | ↑ 0.05 | ↑ 0.21 | (30%) | (35%) | — | ○ |
| 補助線街路番號 | 幹線街路番號 | 丙率適用價線數 | 乙率適用路指 | 圖示以外其他全區 | 借地權利價割合 | 町區界 | 地區界 |



第十五區地整理前後概況圖

(後理整)

(前理整)

